

第5回新市建設計画作成等小委員会 次第

日 時： 平成15年11月28日(金) 午前9時30分から

会 場： 一宮地場産業ファッションデザインセンター 2F第1会議室

1 開会

2 議題

(1)合併に係る基本的事項について

新市の名称について(協定項目3) (資料別冊「新市名称公募結果」)

新市建設計画に係る事項について(協定項目25)

新市の施策について (資料別冊「新市建設計画策定に向けて」)

財政計画について (<財政計画>検討資料)

(2)協議事項

協議新市第4号 地域審議会の取扱いについて(協定項目6)

(<地域審議会の取扱い>検討資料)

(3)その他

今後の新市建設計画作成等小委員会開催日程について (資料1)

3 閉会

今後の新市建設計画作成等小委員会の開催日程について

今後の新市建設計画作成等小委員会開催予定

	日 時	会 場
第 6 回	平成15年12月22日（月）午後3時00分から	一宮地場産業ファッションセンター2階第1会議室
第 7 回	平成16年 1月23日（金）午前9時30分から	一宮地場産業ファッションセンター2階第1会議室
第 8 回	平成16年 2月18日（水）午前9時30分から	一宮地場産業ファッションセンター2階第1会議室

（参考：協議会開催予定）

	日 時	会 場
第 4 回	平成15年12月25日（木）午後2時00分から	尾西市商工会館3階研修大ホール
第 5 回	平成16年 1月28日（水）午後2時30分から	木曽川町役場2階中央公民館講堂
第 6 回	平成16年 3月 3日（水）午後2時00分から	尾西市商工会館3階研修大ホール

平成15年11月28日

新市名称 公募結果

一宮市・尾西市・木曾川町合併協議会

新市建設計画作成等小委員会

新市名称の決定方法

1 決定方法

「新しいまちをつくる」というイメージを高めるとともに、合併に対する住民の意識や気運をより高めるため、**現在の2市1町の名称(一宮・尾西・木曽川)も含めて、「新市の名称としてふさわしい名称」**を、一宮市・尾西市・木曽川町の住民を対象に広く**公募**を行い、応募された名称の中から協議会において決定する。

2 応募要領

応募資格	2市1町の在住者
応募方法	2市1町の全世帯に配布した協議会だよりの専用ハガキ (郵送料は、協議会で負担する) 官製ハガキ(下記「記載事項」を明記) ----- 応募可能数は1人1名称1点限り有効とする。
周知方法	協議会だよりの、協議会ホームページ、市町広報誌等
応募期間	平成15年10月15日～平成15年11月11日(消印有効)
応募記載事項	新市の名称 住所 名称のフリガナ 氏名 その名称とする理由(省略可) 年齢 郵便番号 電話番号
応募条件	常用漢字、ひらがな、カタカナ及びこれらの組み合わせにより表記された読み書きが容易な名称であること。 公序良俗に反する名称、また一般常識上において不適切と思われる名称でないこと。 知的所有権に抵触しない名称であること。 全国の市と同じ表記でないこと。
決定基準	現在の2市1町の名称(一宮・尾西・木曽川)も含め、新市の名称としてふさわしい名称 一宮市・尾西市・木曽川町の歴史的由来、文化、特徴、地理的特性を表現した名称 一宮市・尾西市・木曽川町の知名度の向上が期待でき、対外的にアピールできる名称 一宮市・尾西市・木曽川町のまちづくりの理念や願いを表した名称
応募作品の取り扱い	応募された作品に関する一切の権利は、当合併協議会に帰属する。 応募名称をそのまま採用することが困難な場合は、必要に応じて補作することができる。その際、あくまでも原案の趣旨を損なわない範囲で、これを行う。
発表	協議会で決定後、「合併協議会だよりの」及びホームページで発表する。

賞品等はなし

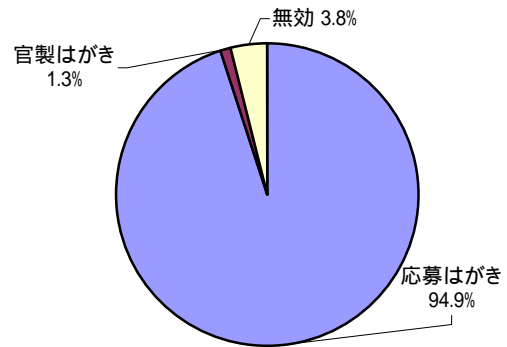
3 その他

応募された名称ごとの応募点数は、新市の名称の決定には、影響を及ぼさないものとする。

応募状況

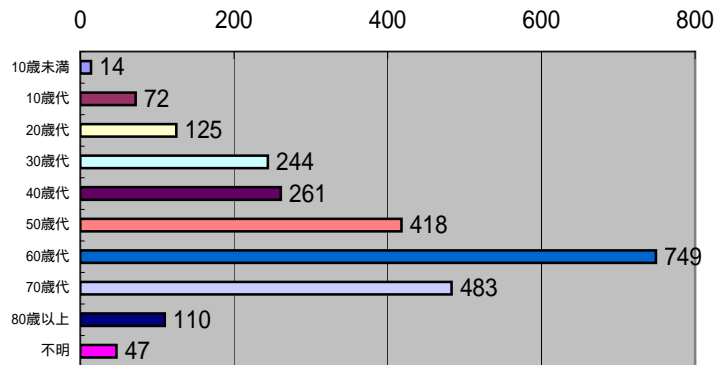
応募方法別

応募方法	件数	構成比
応募はがき	2,490	94.9%
官製はがき	33	1.3%
小計	2,523	96.2%
無効	101	3.8%
合計	2,624	100.0%



年代別

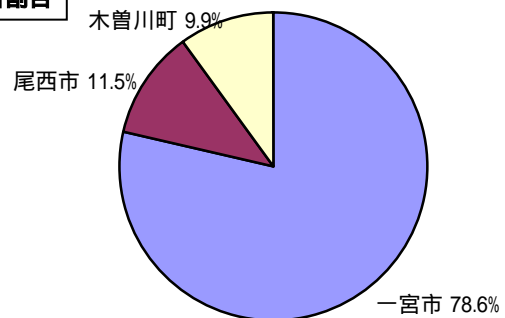
年代	件数	構成比
10歳未満	14	0.6%
10歳代	72	2.9%
20歳代	125	5.0%
30歳代	244	9.7%
40歳代	261	10.3%
50歳代	418	16.6%
60歳代	749	29.7%
70歳代	483	19.1%
80歳以上	110	4.4%
不明	47	1.9%
総計	2,523	100.0%



居住地別

居住地	件数	構成比
一宮市	1,983	78.6%
尾西市	289	11.5%
木曽川町	251	9.9%
総計	2,523	100.0%

居住地別応募者割合



参考: 応募率 (対配布数)

市町名	だより配布数	応募率
一宮市	98,100	2.0%
尾西市	20,200	1.4%
木曽川町	10,500	2.4%
総計	128,800	2.0%

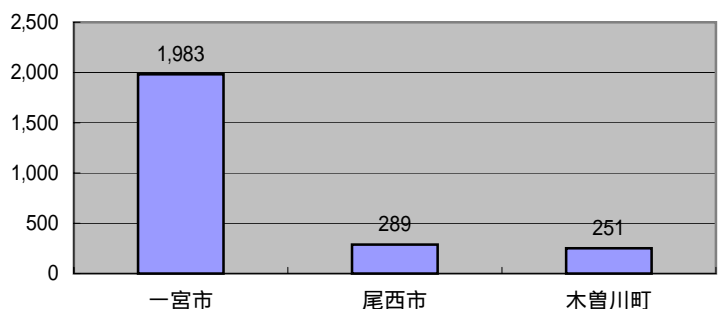
臨時号配布数

参考: 応募率 (対人口)

市町名	人口	応募率
一宮市	282,029	0.7%
尾西市	58,864	0.5%
木曽川町	32,126	0.8%
総計	373,019	0.7%

H15.5.1現在人口

居住地別応募者数



応募名称一覧 (50音順)

応募名称の種別
298 種

*複数応募名称の理由については、代表的なものを例示

新市名称	応募件数	理由
あいり市	1	覚えやすく記憶に残り、愛知で一番のいいいちのみやも考え、3市町合併で三文字としました。
愛一宮市	1	皆が愛する町に。
愛彩市	1	愛知県の西にあり、毛織物に彩るというイメージがあるから。
愛三市	1	2市1町呼名明解です。
愛棧市	1	共に2市1町合わせて共に棧橋のように愛する町作りにしましょう。
愛市	1	一人ひとりが増え愛を知る市として、全国のモデル都市になるぐらいの市になるように心をこめて。
愛深市	1	愛を知るは愛知、ならばその愛を深めようという意。
愛西市	6	愛知県の西部地方でみんなに愛される市になってほしい。
あいち市	4	県と同じ名前で覚えやすいこと。愛して住みやすい町になることを願って。愛子様と同じ愛を入れて末永い繁栄の願いを込めて
愛知市	4	愛と呼ぶ県名の中に愛の市もあつたらよいと思いました。満ちあふれる木曾川の水のごとく愛の育まれる願いと共に。
愛北市	6	愛知県の一番北に位置する市という意味をこめて。
愛北城市	1	愛知県の北にある城にしたい。
愛宮市	1	「愛・地球博」を記念して。
愛夢市	1	愛と夢がいっぱいあふれる市をつくりたい。日本全国民の度肝を抜く名前で知名度アップ！
愛流市	1	「愛」は愛知県の愛であり思いやりの町の愛でもあります。「流」は2市1町を流れる木曾川の清流のことで「愛」が「流」れる新都市のイメージ名です。
暁市	1	「物事が現実・完成するその時」を意味する漢字であることから、現在の2市1町が合併することによってよりよい完成された新市になるように。又、音の響きもよいので。
あかるい市	1	あかるい世の中、あかるい市でいたいです。
あけぼの市	1	新規一転の名称の方が覚えやすいと思いました。
あすなる市	1	明日は成る！新市の発展の願いを込めて。
あまのがわ市	1	織物の地で木曾川の恩恵を受けて生活している地で子供からも老人からも星に願いを込めて夢のある市を作っていけたらと思いました。
天の河市	1	特産＝織物による七夕祭、木曾川を含む2市1町の地系的環境を考えて。
新市	3	新たな気持ち。新たな時代。
いおぎ市	1	各市町の頭文字。
一西木市	2	一文字を残す。 一文字ずつ。
いちい市	2	日本一。
一尾川市	5	一文字ずつとって。
一尾市	2	一宮＝一。尾西＝尾。を取って。
一織市	2	一番はじめの一と郷土産物の織物を合体。
一木曾尾市	1	2市1町の頭文字。(合併したことがわかりやすい)
一西川市	1	一文字ずつ。
一虹市	1	2市1町共に川があり、自然を表わしている。育てがいがある町名。価値ある町
一宮尾川市	1	全国的に知られているのはやはり一宮市。尾西の尾と、木曾川の川をいただいてはいかがでしょう。四文字では日本ではありませんが字数は少ないのでバランスが取れていると思います。
いちのみや尾張市	1	
一宮市	1,273	愛着がある。 新しい名称にすると事務手続等無駄が多い。 きれいな響き。 これからは高齢化になり簡単に書ける一宮市が良いと思います。 全国的に知名度が高い。 名前が大好きだから。 慣れ親しんだ市名ですし、一番始めは一宮と歌にも出てくる市名を変えない方がいいと思うから。 日本中で一の宮はたくさんありますが、市名で成っているのは我が市のみです。 真清田神社の門前町である一宮の名前はぜひ残してほしい。 歴史と伝統のある名称。
いちのみや市	19	「いちのみや」と「いちみや」と言う人がいるため、統一してほしいのでひらがなを希望します。 わかりやすく、やさしい感じ。
一の宮市	10	一宮市は2市1町では最も知られているが、「いちのみや」「いちみや」と読み方が今ひとつ浸透していないため。
一ノ宮市	5	漢字の読みがはっきりするから。
イチノミヤ市	1	わかりやすい。
一のみや市	1	「いちのみや」はきれいな言葉でのこしておきたい。

新市名称	応募件数	理由
一之宮市	1	
一宮リバーサイド市	1	3市町共木曽川に接し尾張西部に位置している一宮市をリーダーにし、名古屋市中心の方向へ発展新しいイメージとしてカタカナを入れた。
いちびき市	11	各市の一文字をひらがなにソフトな感じに。
イチビキ市	1	2市1町、忘れる事のないように。
一尾木市	104	2市1町の頭文字を取り、市民に一尾木(ひびき)を感じる市をイメージしました。
一美喜市	1	2市1町の存在を重視。日本一美しく住みやすい喜び溢れる市。
市尾木市	1	平等の市になるように。
いちみや市	5	「いちみや」と間違えやすかったし、「さいたま」や「ひたちなか」のように親しみやすいようにそれといちのみやの名を残したい。
一三八市	1	一宮市のシンボルである「138タワー」の名をもっと広めたいと思ったから。
一宮西川市	1	一文字ずつとる。
一光市	1	一宮の(一)を残したい気持ちと輝きある(光)を組み合わせたい気持ちで
糸結市	1	織物の町を連想させる漢字。糸を結んだ時のように手と手を取り合って仲良くできるように。愛知県と並べると愛を知って糸を結ばれる。
いびき市	8	頭文字の語呂合わせ。
一尾木曾市	1	
いぶき市	3	3市町から伊吹山を見る。
伊吹市	2	伊吹山の東に広がる大きな平野の発展を願って。
息吹市	1	2市1町の頭文字をとっていびき。地場産業の低迷の中で新しい芽が次々と吹き出し活力のある市に生まれ変わることを願って。
いろは市	1	新市の誕生の始めの一步は市民に分かりやすく、優しいまちづくりをしていく。つまり「いろは」はこの象徴である。
ウール市	1	もう一度活気ある街、やはり産業が基盤になると思います。
美市	1	美しく広がる濃尾平野I。美の追求をするデザイン、テキスタイルなどの産業。尾州の名称にちかい音等で考えました。
栄光市	1	合併により栄え光り輝きのある市になるよう心をこめて。
愛知西市	2	愛知県の西地区位置。愛知を「えち」と呼べる。
尾一西川市	1	尾張の地名としてわかりやすい。
おいち市	2	尾張一宮市の5文字を略した。
桜花市	1	桜の花みたいに華やかな市になってほしい。
織田市	2	昔、織田信長の一族に支配されていたから。
織一市	1	織物産地の市町です。
御宮川市	1	合併が多い中、新しい名前に実感が少ないことが多い。今までの名前をそのまま残し一宮の”宮”は”お宮さん”木曽川の”川”そして尾西の”尾”を敬いの気持ちで”御”としました。範囲は広くても気持ちは一つの市にしたいものです。
尾宮川市	1	一文字とって。文化と歴史にふさわしいと思いました。
尾宮木市	1	一文字ずつ。
尾宮市	1	尾張の中心都市で、尾張一宮神社の所在地でもあるので。
織川市	3	織物にまつわる町と木曽川の川もその存在を忘れないように。
織郷市	1	織物の古郷。
織市	1	織物の町であることを知ってもらう為には分かりやすく覚えやすい方がよいと思うので一文字にしました。
織曾市	1	旅行先で「どちらから？」と、織物の町尾西ですよお出かけください。と、挨拶しております。木曽川を愛している市民町民一昔前お隣が木曽川町と名付けられたのもそのような由来があると思います。
織づる市	1	繊維が盛んな町のシンボルとして”織”をつかい”づる”は長く栄えるとの希望を含んだ市に住みたいと思い。
織都市	5	織物の都を再復活させ又ファッションの町をアピールする為。
織人市	1	繊維が盛んなこの地域と人と人が織り成す豊かで幸せに満ちた毎日をおくれる市となるよう願いを込めて。
織宮市	1	繊維産業を中心として発展してきた歴史があり、今回の合併を機にして名を残す意味も含めて。
織姫市	9	織物という文化と七夕まつりという一大イベントをイメージしたもの。
おりひめ市	6	織物の神様であり、織物の町、繊維の町を連想させます。
おり姫彦ぼ市	1	織物が盛んな地域であり、また有名な七夕祭りがあるため。
織部市	1	2市1町は昔から織物の町として発展した為、その伝統をずっと名前として残したいから。
織基市	1	2市1町は織元の町であった。
織物市	2	織物の産地である。
尾張一市	3	尾張で一番暮らしよい市にしたい。

新市名称	応募件数	理由
尾張一宮市	262	JR駅名と同じ。名神高速道路のPAと同じ。 あまり大きく変えたくない。 一宮という名称はどこにもあるが、尾張という歴史的な誇れる地名はありません。大きくなって、より強調してほしい。 尾張一のお宮(真清田神社)がある市ということで。 尾張の国一之宮と古い時代から呼ばれてきた名称で後世へ残すべき。
尾張一の宮市	4	一の宮はどここの地方にもある。尾張を強調するため。
おわりいちのみや市	3	
尾張いちのみや市	3	「一宮」という地名は全国的にも数多くあり、また漢字では「いちのみやし」と呼んでもらえません。「いちみやし」なんていわれています。尾張の地名も広げましょう。
尾張一ノ宮市	2	全国各地にある一宮の中で尾張を前面に出して存在地域の明確化と真清田神社との関係も一ノ宮の呼び名を統一する。
尾張一尾木市	1	現在の一文字をとって公平であるように。
尾一宮木曾川市	1	2市1町の名称を未来の子供たちに残したいため。
おわり一宮市	4	旧尾張の地名と新名が同一であることが必要だと思います。
おわりいちみや市	1	尾張を入れることで全国的に分かりやすい。
尾張いちみや市	1	全国的な知名度から見た。ひらがなにすることで目を引く様に。
尾張いびき市	1	尾張の2市1町。
尾張木曾川市	7	尾張という統合的な地名と町のそばを流れるシンボリックな川、木曾川の名前から考えました。
尾張さそがわ市	1	尾張平野を流れる木曾川をイメージして。
尾張木曾市	2	尾張地方は全国的に知名度が高く、そして一級河川である木曾川も知られている。
尾張北一宮市	1	尾張平野の一番北になること。一宮という地名はどこにもある、尾張を入れることにより場所がはっきりする。
尾張毛織物市	1	2市1町の基幹産業。
尾張三川市	1	尾張の地名を生かし、木曾川、長良川、揖斐川に属す有名な地形を表わす。
尾張市	141	尾張地方にあるから。 自動車のナンバーも「尾張小牧」だから。 将来の拡大も考えられること。 全国的に知られてる。 歴史的重みを感じる。
おわり市	8	尾張地方だから。漢字で書くより優しい感じがする。
オワリ市	1	歴史の上でもユニークな地域です。一寸現代風カタカナで。
尾張西部市	3	尾張の西部にふさわしいと思いました。
尾張西北市	1	尾張西北に位置。
尾張センイ市	1	センイの町。
尾張蘇水市	1	それぞれの西方に木曾川があるからです。
尾張七夕市	2	2市1町に古くから繁栄した地場産業の繊維に感謝し今後の新市に夢と希望を
尾張中島市	1	かつてこの地域は中島郡と呼ばれていた時期があったため。
尾張名古屋市	1	有名(書きやすい)
尾張西市	4	尾張西部に位置する市町の合併都市。
尾張西中央市	1	尾張の西中心的な新市としての発展を期す。
尾張の国市	1	江戸時代の当地方の藩の名称である「尾張」と一般的な藩の呼称「〇〇の国」に
尾張野市	6	地域の諸特性を表現し旧市町住民の皆がアイデンティティとして共有できる名称。さらに新しい地域のあり方を全国全世界へ伝えられる新しく創る名称。ひらがなによる「おわりの市」も可。「尾州」は元来広域を指す用語で半田等でも使用。また当地の古い産業・社会構造を彷彿とさせ、我が地域の新しい表現として、そのままでは不適當。なお結果的に新市名称が「一宮市」となるのも仕方ないと考えるが、このまま新しい行政のあり方が十分に市民で議論されず、まちづくりや地域づくりが明確に語られないまま従前の「一宮市」が継続するならば、市名の変更を強く主張したい。そうでもしないと変えられない根本構造がこの地にはある。変革の認識のない上滑りの市町合併は旧市町どの地域の住民にも将来に大きな禍根を残す。
おわり野市	1	2市1町をひっくるめた場合地域的にも地形的にも共通しているし、豊穡な尾張平野がイメージされてくる。これからの「スローライフ」「地産地消」に対応できる機能を持った尾張野であることを願って。
尾張の市	1	「尾張平野」の中心2市1町合併と「の」が親しみの響きがいいから。簡単な字。
尾張尾州市	1	センイの街のため。尾州産地のアピール。車のナンバーも尾張尾州へ。
尾張平野市	1	雄大なる濃尾平野の穏やかな地理的、幾多の歴史ドラマ展開の地をイメージして。
尾張やよい市	1	古代から人が生活していたことから考えました。
梶宮市	2	一文字ずつとって。かじをとりながら発展。
一磨市	1	2市1町が一つになり磨かれたものが出来上がるような市にしたい。

新市名称	応募件数	理由
川市	1	”母なる川”木曾川をイメージした。川の字の線の長さで市町の大きさを表わした。一宮市尾西市で木曾川町を包み暖かさを強調した。
川並市	1	木曾川沿川地域。
川の守市	1	木曾川に囲まれ、川に守られているし、これからは川を守っていかなければならないと思うから。
川端市	1	木曾川の懐に包まれた都市。それは2市1町が地理上の共通点であるから。
木一尾市	1	木曾の川に仲良くはさまれ尾張一円ゆたかな市である。
きぎょう市	1	
木西一市	1	一文字とって。
きずな市	1	現代は銀行等もひらがな名称も多いので人と人とのつながり、3市が輪になり市の向上によいのではないか。
木曾川三市	1	すべて木曾川堤防沿いにある。
木曾川市	63	2市1町木曾川に面しているから。 木曾川にはぐくまれた土地。 木曾川の恩恵を受けている。 世界に通用する他になく地名としてイメージしやすい。 知名度の高い「木曾川」の名前をいただき、自然の雄大さ美しさをアピールした
きそがわ市	7	全国的に知名度のある「木曾川」をさらに親しみやすくひらがなにする事で新市の名称にふさわしいと思われる。
木曾三市	1	木曾川沿線2市1町合併での新市誕生。1、木曾川を守り。2、木曾川を育て。3、木曾川と共に繁栄を願う。
木曾三川市	2	国立公園でよく知られている。
木曾西市	1	三町の名前を入れたいからです。
木曾西宮市	1	木曾川を中心とした愛知県の西にある都(宮)と考えました。
木曾宮市	1	長野県、岐阜県より伊勢湾への大河＝木曾川。伊勢神宮、熱田神宮、真清田神社＝一宮。
木曾乃宮市	1	木曾川に沿っていますので。
木曾宮尾市	1	2市1町の文字を組み合わせました。
北尾張市	2	旧国名の尾張地方を代表する名称であり全国的に知名度が高く親しみやすいことが一番であろうと思います。
北名古屋市	2	愛知県を代表する市知名度の高い名古屋の北に位置するから。 知名度が全国版のため、各市の面目が立つように。
木尾一宮市	3	一文字ずつ。
希望市	1	2市1町が合併して希望をもちつつながらみんなのしにしていこう。
共生市	1	人が環境・自然と共存する事をめざし、人々が互いにその存在を認め合って共に生きる市をイメージした。
毛織市	1	
毛織物市	1	織物の産地として有名だから。
江西市	1	江南市ができたいきさつは当時の桑原知事が命名されたと聞く。理由は大河木曾川の南に位置するからとの事。それにならって当地方も大河木曾川の西方にあるので江西市がマッチするようです。
心入市	1	人の心が入った市となるように。
心市	1	おもいやりの町。
西輝市	1	愛知県内の西方に位置し光り輝く市。
西北市	1	愛知県の西北に位置する。
幸市	2	新市民の幸せを願って。
桜市	1	美しい市になるように。
さわやか市	1	木曾川の恵みに生まれ、清流の青さと秋空の様に澄みきった壮快感を味わえる市にしたい。
三愛市	1	2市1町が愛で結ばれるため親子、兄弟、夫婦の愛も表わす。
三合市	1	三つの市町の合併。
三生市	1	三つの市と町にて生まれる市である。
三川市	2	木曾三川、2市1町がますます発展するように。
三珠恵市	1	宝珠を2市1町の恵みの力として市の繁栄長久する。
三宮市	2	2市1町が合併して3なので。
三輪市	1	2市1町仲良く手を結んでいこう。
しあわせ市	1	個人としても誰もが願っていることだと思ひ、市としても幸せになることを目標としていけば発展もしていけるし市民も幸福になれると思ったので。
新愛知市	1	愛知県の代表として、誇らしい活気のある街づくりをモットーに命名。
新一宮市	22	新しく合併で生まれた新一宮市である。 その他
真一宮市	3	真清田神社の真を一字もらって真(本当)の素晴らしい市になるように願いを込めて。
清一宮市	1	清流木曾川に関わりある2市1町から生まれた証にサン(3)ズイ(水)偏の付く適切な語義を有する「清」を冠した。
新ウィーン市	1	ヨーロッパのウィーンのように日本のウィーンとなり世界的に有名になる。
新尾張市	5	新しく有名になる為には新しい尾張なんだと目立つためにこれがよい。
新木曾川市	1	豊かな河木曾川の自然が好きです。

新市名称	応募件数	理由
新成市	3	新しく成り立った(成立)市。
新生市	2	新しく生まれ変わる市という前向きなイメージから。
新聖市	1	新しい気持ちで生まれ変わり学識、技術に優れた町になるように思いを込めまし
新中京市	1	日本の真中。
新濃尾市	2	濃尾平野の一角に新しく誕生し発展してゆく都市。
新芽市	1	字のごとく新しく出発する市の名称にと考えました。
優市	1	自然や人(市民)に優しく、優れた市政を期待して。
昴市	1	一つにまとまる意の「統(すば)る」から。光り輝く感じ。
スリー、エイト、シティ	1	由緒ある3・8市をアピールする。3=2市1町。8=末広がり。
西部市	3	愛知県の西部地方にあるから。「西部警察のある西部市。犯罪ゼロをめざす。」をモットーにし知名度アップ。
清流市	2	木曾川の清い流れのもとで3つの市が仲良く発展するように名を付けました。
せんい市	2	地場産業を全国にPRできるし、ゴロも優しく覚えやすい。
センイ市	1	織物の町。
繊維市	1	繊維並にファッション産地。
そ水市	1	木曾川を蘇水と言われていたため。その恩恵を受けております。
蘇水市	1	頼山陽名詩の中に上記の詩あり木曾川を夢路して蘇水がよいと思います。
蘇東市	5	蘇は木曾川の旧名。その東の意味。
曾尾一市	1	一文字ずつ。
曾宮尾市	1	一文字ずつとって。
七夕市	9	七夕まつりから。
七夕の宮市	1	常に七夕祭りに感謝、期待しつつ健やかな街へ。ひらがなの「の」を引用したのはやわらかな感じが出たかったから。
タワーパーク市	1	山梨県のアルプス市のようにカタカナ明記にすることで、全国の人にも知っていただけのこと。タワーパークの展望台から町を一望できることで、全国の観光アピールにもなると思っています。
中京市	3	東の都東京、西の都京都、であり中間の都として中京市とする。
中部市	4	日本の中央に当たる地域だから。
町一尾市	1	まずは町づくりの理念そして、2市1町の中から1文字ずつとって読み方を変えて3つ揃ってのスタートなので超一押みたいなんです。
巴市	1	巴のように2市1町の特徴や長所が同じ方向に向かい丸くまとまればと言う希望より命名しました。
豊宮市	1	2市1町が合併することにより「一」より「豊」かな市へさらに愛知県の中核市として豊田、豊橋とともに「豊」ブランドで全国的な知名度をアップ。
中宮市	1	中島郡の中と一宮市の宮にて中宮市。
仲間市	1	2市1町がこれから仲良く元気の市になってほしい。
仲良市	1	2市1町住民共に仲良く。
西愛知市	4	この際、愛知県の西に位置する所、知名・地名的にも。
西一宮市	1	ハローワーク前、名鉄無人駅からの新たな出発。
西尾張市	53	尾張の西に位置する。
西おわり市	2	尾張の地に誕生。
西木曾川市	1	木曾川流域に位置している。
錦宮市	1	尾西の「西」と木曾川の「木」で「西木」だが、美しく「錦」。一宮の「宮」を合わせ
西木宮市	1	一文字ずつとって。ちょっと皇族っぽいと思いました。
西名古屋市	3	名古屋市のおおよそ西側に位置し、大規模な新しい市として名古屋市に負けじと頑張ってもらいたい。
西濃尾市	1	濃美平野から命名した。
西宮市	1	愛知県の西部に位置するから。
西宮川市	1	愛知県の西にある川の近くにある町。
西宮木市	1	2市1町が平等になればいいと思います。
ニュー一宮市	1	新一宮よりもナウイ。
ニュー宮市	1	新しく合併するので、でも一宮市は残したい。
濃尾市	20	濃尾平野にあるから。
のうび市	5	古来より濃尾の地であり、伸び伸びと伸びゆく市であるように願いを込めて。
濃美市	1	名称が美しく土地を連想させる。
羽木市	1	木曾川の清流が大きく羽ばたくように。
葉栗市	3	一郡一町の木曾川町が合併されると「葉栗郡」が消滅してしまうから。
一市	3	簡単であること(住所表示など)何よりも一番である事(嫌がる人は少ない)インパクトがあり覚えやすい事。わざわざ難しい名称にしないで下さい。
はじめ市	1	一(はじめ)宮の由来を残したい。
はた織り市	1	織物産地の町。
美愛市	1	愛知県で一番の美しく何に(誰に)対しても愛情深い市になることを願って。
光市	1	未来に向かってあかるく進んでいこう!とする光をまとめた。
尾銀市	1	尾張地方のための「尾」と尾張ではなく始めようの「begin」をあわせ、また光り輝くように「銀」として。
尾西一宮市	1	合成名。
尾西市	6	尾張地方の西部にあるから。

新市名称	応募件数	理由
尾州一市	1	昔からの呼名である尾州で一番住み良い町になってほしい。
尾州一宮市	5	古来よりの名称が少しでも残る市名がよいと思う。
尾州市	22	毛織物の生産地を表わす名称として定着している。 地理的な理由そのまま。
ひだまり市	1	新市を新しくするという意味で今までの市町の名称的に関係のないものが良いと思いました。”ひだまり”は一宮タワー近辺のイメージから湧きました。自然もありあたたかいイメージから考えました。
ぴのう市	1	濃尾平野の中です。
ひびき市	2	新市民の声が新しい市に響く明るいイメージ。
杼美生市	1	はた織りで横糸を巻いた管を入れるもので繊維らしい美しい町が生まれる。
一二三市	1	一宮の一を残したい。二市と一町で。
尾北市	3	尾張の北部に位置するため。
ひまわり市	1	みんなが太陽の光を受けて「ひまわり」のようにすくすく育ちますように。一人ひとりが明日に向かって。
尾木一宮市	1	一文字ずつ。
平規織市	1	濃尾平野の恵まれた豊かな土地で、織物が栄えた地であり、将来他の模範となるようにと願いを込めた「規」という字を使って。
平都市	1	濃尾平の中心地として21世紀に発展してほしい。かつて一宮市が平野村であった
二重市	1	一宮市のシンボル「ツインタワー」のツインから二重です。
平成市	1	平成の年に合併になるので、思い出のため。
平成一宮市	1	現在の御世、新しい町(市)が誕生したことを世間に宣言、知らせる効果と後世まで引きつなげると考えました。
平野市	2	尾張平野を強調する。
平和市	1	いつまでも平和な市でありますように。考えました。
豊水市	1	全てに木曽川が流れており1年を通じ水が豊かにある。
豊成市	1	平成の世に新しく生まれた市が豊かに発展していくように。
豊都市	1	人材が豊か、歴史が豊か、緑が豊か今でもたくさん豊かなところがありますが、合併してますます豊かになればいいなと思っています。ホッとできる町「豊都市」なんてどうですか。
真木織市	1	真清田神社、木曽川、繊維を組み合わせました。
真清市	6	真清田神社にちなんで。
真澄市	2	清く正しい町。
真清田市	17	真清田神社にちなんで。
ますみだ市	3	真清田神社にちなんで。
真清宮市	1	シンボルの神社の名前です。
眞中市	1	日本列島の中心。
萬葉市	1	歴史的由来を込めた名称にしたいから。
美織市	1	美しい織物を育ててきた町だから。
美川市	1	三市の中で木曽川と主として象徴的。それにあこがれ美しい川。
未絹市	1	未来を繁栄するため、尾張といえば昔絹が栄えたので今と昔を反映する意味
みさき市	2	一文字ずつ。
瑞穂市	1	2市1町は木曽川の清流に側し大切な水に恵まれて来た事は流れてなりません。古来から言われてる瑞穂の国一瑞穂市いかがですか。安らぎと潤いを感じ
三ツ愛市	1	愛知の「愛」そして、2市1町の最初の母音を「i」とし、各々が協力し合い人を愛しよりよい環境を築けたらと思考案しました。
三織市	1	2市1町が織物の町だから。
みつば市	1	2市1町の合併で新制都市として、がっちり1体となって緑豊かな住み良い街づくりを願って。
みつめあい市	1	お互いが見つめあって納得したまちづくりをしていけたらいいなあ。やっぱり見つめあってみる事が一番だと思ったから。
みどり市	1	自然を残しながら市が発展するように。
未明市	1	未来は明るくなるような都市にするように。
宮尾川市	14	一文字とって。
宮尾木市	7	一文字とって。
宮尾市	5	一宮市、尾西市の文字から。みやびと言う優雅な発音がよい。
宮川市	1	一宮タワーは一宮市のシンボルであり有名である事とそこに流れる木曽川の川
宮木尾市	1	2市1町を取って。平等で。
宮栗市	1	三文字で綴る。
宮西川市	6	一文字ずつ。
みやにし川市	1	一文字ずつとって。真清田神社を中心として尾張西部にある木曽川の恵みを受けた市なので。
宮西市	1	一宮市と尾西市をくっつけて木曽川町の名前もいろいろ考えたけどなんとなく・尾張の西という事と発展してほしいというおもいで「宮(都になってほしい)をつけてみやにし
宮西曾市	1	三つの市町が仲良く何事もできるように。
宮ノ梶市	1	木曽川・尾西を”梶”で表わし、七夕には古来より梶の葉が使われてきたことを知らしめ新しい市としてアピール出切るものと思います。

新市名称	応募件数	理由
みやびかわ市	1	古代語で「みやび」の意は「都会風で風雅なしぐさ、風流」というもので2市1町の少しづつの名をとったものでもあります。
宮美川市	1	一文字ずつとり、いつまでも木曽川が美しく流れるみやびな土地であるように。
みやびがわ市	2	雅、品がよく風流な様子。一文字ずつとって。
雅川市	2	一文字ずつとって、新市が「雅」をかもし出す、心豊かな街となるよう期待を込め
宮尾木曽川市	1	2市1町、心をつ一つにして新しい市となるように願いを込めました。
みやび市	2	三つの合称。みやびの言葉の様な都市になりますように。
雅市	1	「木曽川町」は町名として残ると考えられます。その上で、一宮の「みや」と尾西の「び」を合わせて「みやび」。そのままの漢字を使うのではなく、新しい市を創っていくという発想で又この地域の歴史や美しい景色をふまえてこの漢字をあててはどうでしょう。
宮美市	1	有名な、お「宮」のある一宮市と、木曽川の清流に沿った「美」しいまち、尾西市と木曽川町「みやび」やかな「市」であってほしい。
未来市	1	未来えいごう。
宮西木市	1	一文字とって。
名西市	1	名古屋市の西に地を持っている。
やすらぎ市	1	近年、幼児虐待、少年犯罪などがとても多い。みんなが安心して生活できる住み良い町になるよう安らぎのもてる暮らしができるように。
夢織市	4	織物の町であるので、「夢を織る」という夢のある市にしたいと思うためです。
ゆめおり市	1	繊維の町、夢を織る街としてのアピール。
リバーサイド市	1	字のごとく。
若鮎市	1	木曽川に鮎がいるということと、若い元気な鮎のような町になるように。
和市	1	広い心でなごやかに人の和をもって。
和平市	1	平和な市になりますようにと思ったのですが、平凡すぎるので反対にしてみました。
和楽市	1	平和で楽しい市でありますよう。
計	2,523	

応募内容分析

応募名称一覧（応募件数順）

新市名称	件数
一宮市	1,273
尾張一宮市	262
尾張市	141
一尾木市	104
木曾川市	63
西尾張市	53
新一宮市	22
尾州市	22
濃尾市	20
いちのみや市	19
真清田市	17
宮尾川市	14
いちひき市	11
二の宮市	10
七夕市	9
織姫市	9
いひき市	8
おわり市	8
宮尾木市	7
きそがわ市	7
尾張木曾川市	7
宮西川市	6
おりひめ市	6
愛西市	6
愛北市	6
真清市	6
尾西市	6
尾張野市	6
いちみや市	5
のうび市	5
織都市	5
尾州一宮市	5
一ノ宮市	5
二尾川市	5
宮尾市	5
新尾張市	5
蘇東市	5
あいち市	4
おわり一宮市	4
愛知市	4
西愛知市	4
中部市	4
尾張一の宮市	4
尾張西市	4
夢織市	4
いぶき市	3
おわりいちのみや市	3
ますみだ市	3
一市	3
織川市	3
新市	3
新成市	3
真一宮市	3
西部市	3
西名古屋市	3
中京市	3
尾張いちのみや市	3
尾張一市	3
尾張西部市	3
尾北市	3
木尾一宮市	3
葉栗市	3
新生市	2
一西木市	2
西おわり市	2
平野市	2
いちい市	2
おいち市	2
せんい市	2
ひびき市	2
みさき市	2
みやびがわ市	2
みやび市	2
愛知西市	2
伊吹市	2
一織市	2

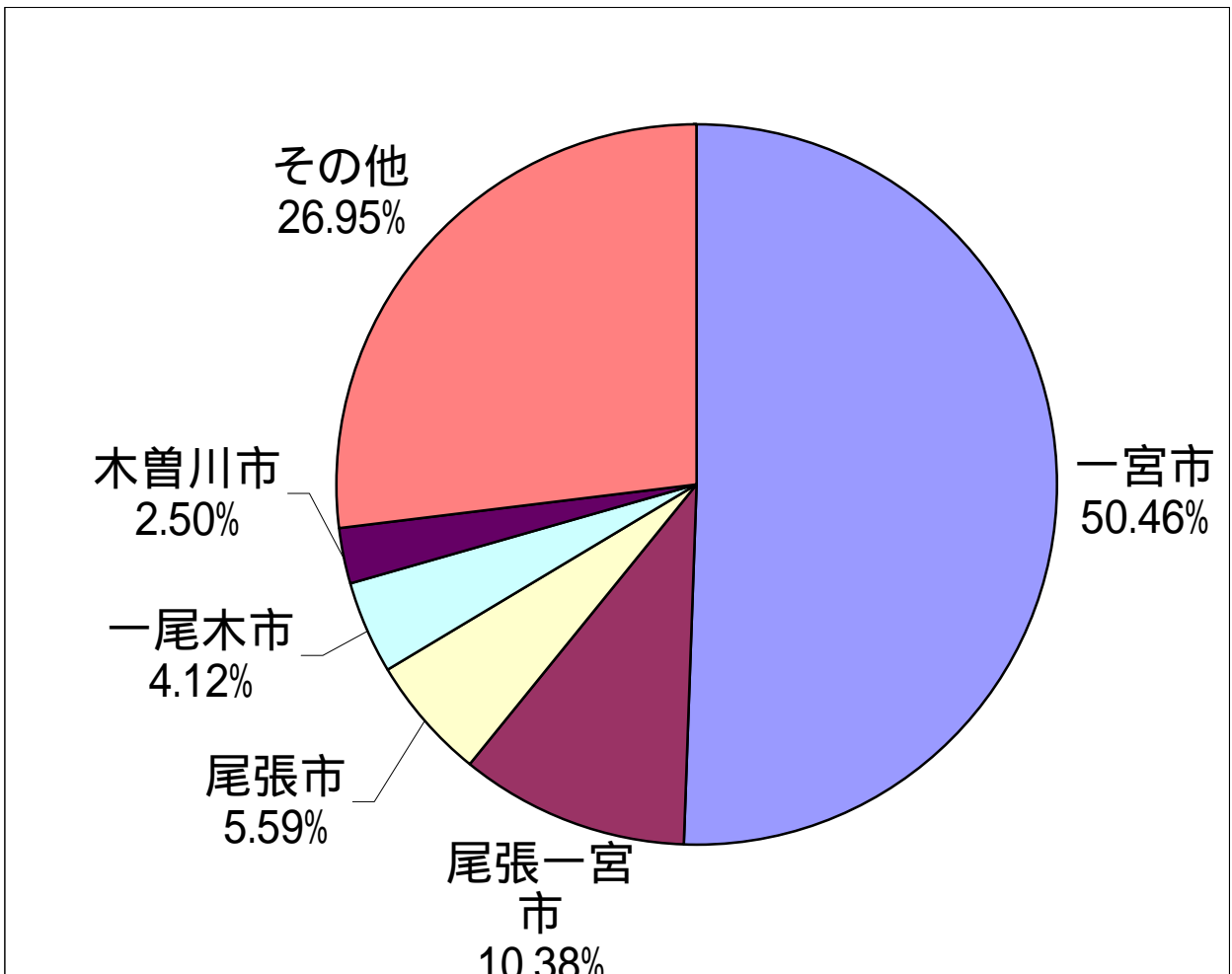
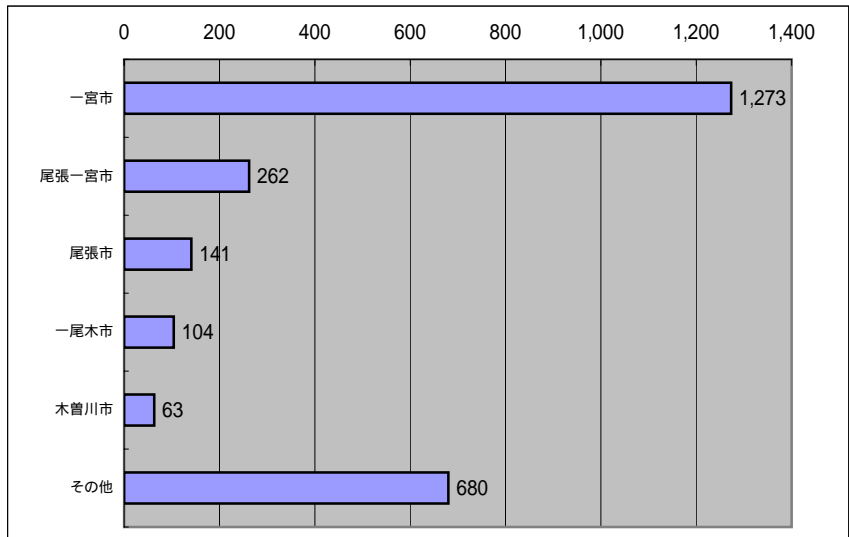
新市名称	件数
一尾市	2
雅川市	2
梶宮市	2
幸市	2
三宮市	2
三川市	2
織田市	2
織物市	2
新濃尾市	2
真澄市	2
清流市	2
尾張一ノ宮市	2
尾張七夕市	2
尾張木曾市	2
北尾張市	2
北名古屋市	2
木曾三川市	2
一虹市	1
あい市	1
あかい市	1
あけぼの市	1
あすなる市	1
あまのがわ市	1
いおぎ市	1
イチノミヤ市	1
いちのみや尾張市	1
イチビキ市	1
いろは市	1
ウール市	1
おり姫彦ぼ市	1
おわりいちみや市	1
オワリ市	1
おわり野市	1
ききょう市	1
きずな市	1
さわやか市	1
しあわせ市	1
スリー、エイト、シティ	1
センイ市	1
そ水市	1
タワーパーク市	1
ニュー一宮市	1
ニュー宮市	1
はじめ市	1
はた織り市	1
ひだまり市	1
びのう市	1
ひまわり市	1
みつぼ市	1
みつめあい市	1
みどり市	1
みやにし川市	1
みやびかわ市	1
やすらぎ市	1
ゆめおり市	1
リバーサイド市	1
愛一宮市	1
愛宮市	1
愛彩市	1
愛三市	1
愛棧市	1
愛市	1
愛深市	1
愛北城市	1
愛夢市	1
愛流市	1
一のみや市	1
一宮リバーサイド市	1
一宮西川市	1
一宮尾川市	1
一光市	1
一三八市	1
一西川市	1
一二三市	1
一之宮市	1
一尾木曾市	1

新市名称	件数
一美宮市	1
一磨市	1
一木曾尾市	1
羽木市	1
栄光市	1
雅市	1
希望市	1
宮ノ梶市	1
宮栗市	1
宮西市	1
宮西曾市	1
宮西木市	1
宮川市	1
宮尾木曾川市	1
宮美市	1
宮美川市	1
宮木尾市	1
共生市	1
暁市	1
錦宮市	1
御宮川市	1
光市	1
江西市	1
桜花市	1
桜市	1
三ツ愛市	1
三愛市	1
三珠恵市	1
三織市	1
三生市	1
三輪市	1
市尾木市	1
糸結市	1
七夕の宮市	1
若鮎市	1
織つる市	1
織一市	1
織基市	1
織宮市	1
織郷市	1
織市	1
織人市	1
織曾市	1
織部市	1
心市	1
心入市	1
新ウィーン市	1
新愛知市	1
新芽市	1
新聖市	1
新中京市	1
新木曾川市	1
真清宮市	1
真木織市	1
瑞穂市	1
清一宮市	1
西一宮市	1
西輝市	1
西宮市	1
西宮川市	1
西宮木市	1
西濃尾市	1
西北市	1
西木宮市	1
西木曾川市	1
川の守市	1
川市	1
川端市	1
川並市	1
織維市	1
曾宮尾市	1
曾尾一市	1
蘇水市	1
息吹市	1
中宮市	1
仲間市	1

新市名称	件数
仲良市	1
町一尾市	1
天の河市	1
二重市	1
濃美市	1
巴市	1
尾一宮木曾川市	1
尾一西川市	1
尾宮市	1
尾宮川市	1
尾宮木市	1
尾銀市	1
尾州一市	1
尾張一宮市	1
尾張いちみや市	1
尾張いびき市	1
尾張きそがわ市	1
尾張センイ市	1
尾張の国市	1
尾張の市	1
尾張やよい市	1
尾張一尾木市	1
尾張三川市	1
尾張西中央市	1
尾張西北市	1
尾張蘇水市	1
尾張中島市	1
尾張尾州市	1
尾張平野市	1
尾張北一宮市	1
尾張名古屋市	1
尾張毛織物市	1
尾木一宮市	1
美愛市	1
美織市	1
美川市	1
平規織市	1
平成一宮市	1
平成市	1
平都市	1
平和市	1
豊宮市	1
豊水市	1
豊成市	1
豊都市	1
未絹市	1
未明市	1
未来市	1
名西市	1
毛織市	1
毛織物市	1
木一尾市	1
木西一市	1
木曾宮市	1
木曾宮尾市	1
木曾三市	1
木曾西宮市	1
木曾西市	1
木曾川三市	1
木曾乃宮市	1
優市	1
和楽市	1
和市	1
和平市	1
昂市	1
杼美生市	1
真中市	1
萬葉市	1
美市	1
三合市	1
総計	2,523

全体

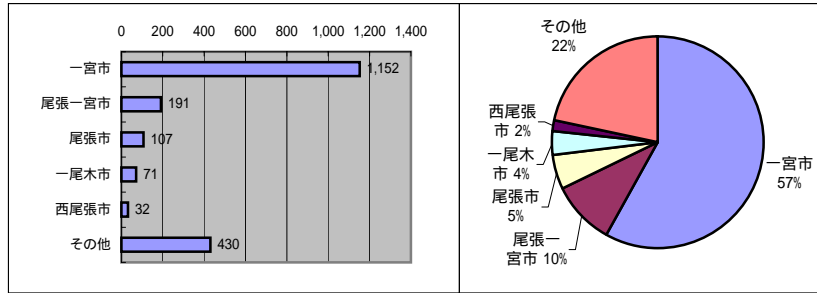
新市名称	件数
一宮市	1,273
尾張一宮市	262
尾張市	141
一尾木市	104
木曽川市	63
その他	680
計	2,523



居住地別分析

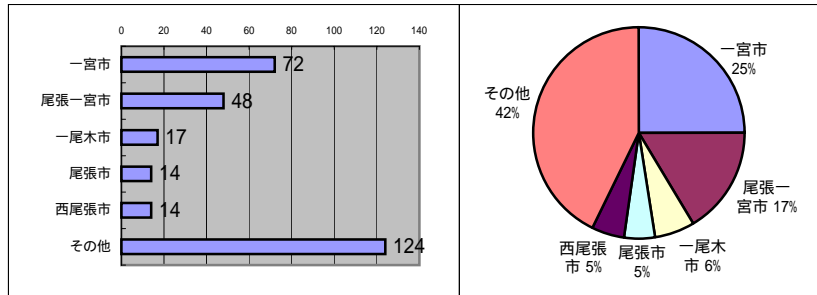
一宮市

新市名称	件数
一宮市	1,152
尾張一宮市	191
尾張市	107
一尾木市	71
西尾張市	32
その他	430
計	1,983



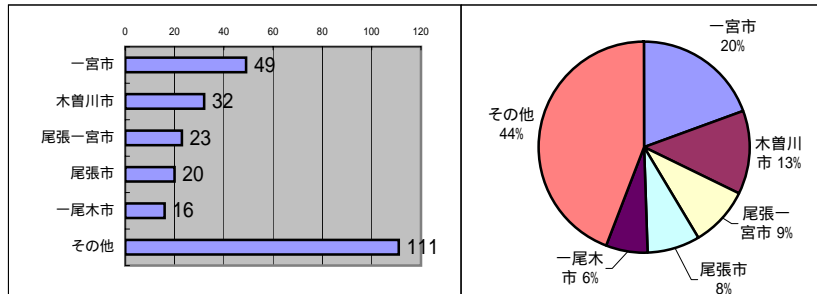
尾西市

新市名称	件数
一宮市	72
尾張一宮市	48
一尾木市	17
尾張市	14
西尾張市	14
その他	124
計	289



木曾川町

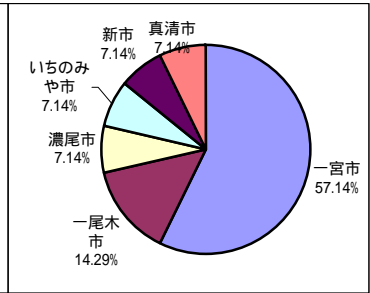
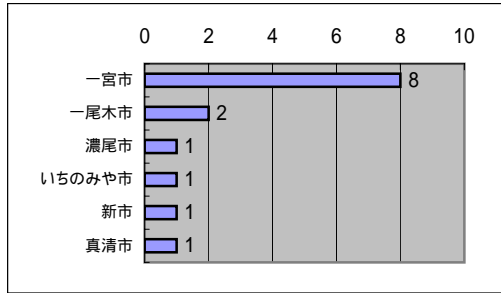
新市名称	件数
一宮市	49
木曾川市	32
尾張一宮市	23
尾張市	20
一尾木市	16
その他	111
計	251



年代別分析

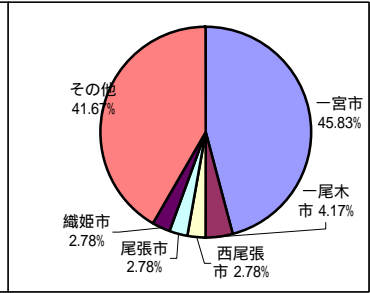
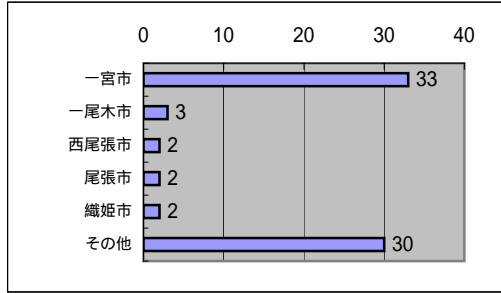
10歳未満

新市名称	件数
一宮市	8
一尾木市	2
濃尾市	1
いちのみや市	1
新市	1
真清市	1
計	14



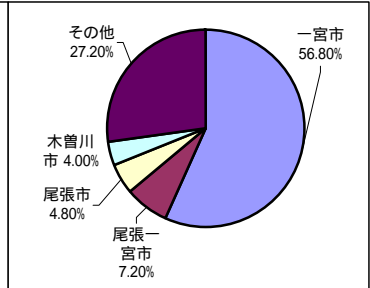
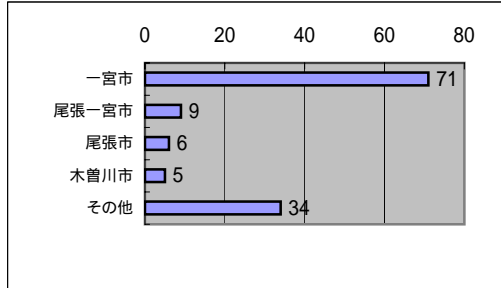
10歳代

新市名称	件数
一宮市	33
一尾木市	3
西尾張市	2
尾張市	2
織姫市	2
その他	30
計	72



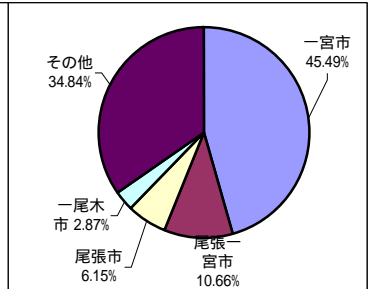
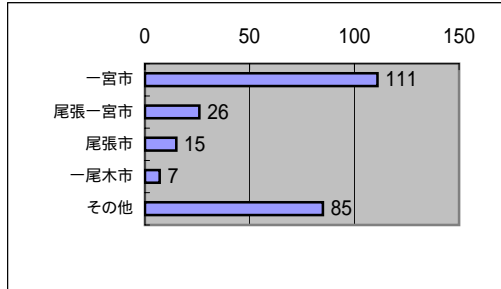
20歳代

新市名称	件数
一宮市	71
尾張一宮市	9
尾張市	6
木曾川市	5
その他	34
計	125



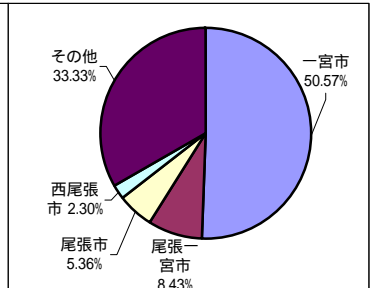
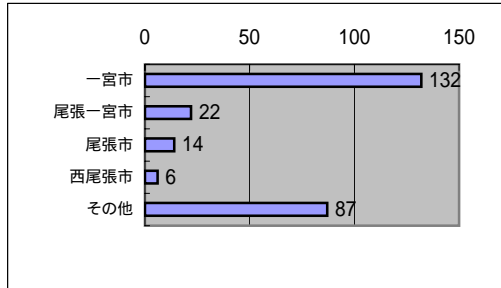
30歳代

新市名称	件数
一宮市	111
尾張一宮市	26
尾張市	15
一尾木市	7
その他	85
計	244



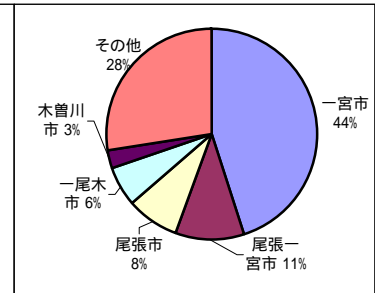
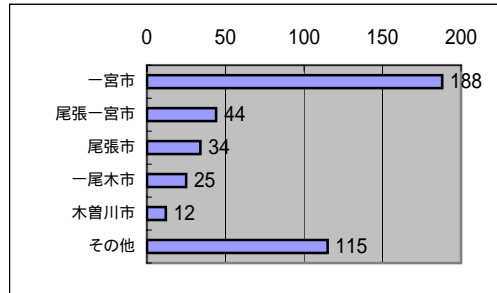
40歳代

新市名称	件数
一宮市	132
尾張一宮市	22
尾張市	14
西尾張市	6
その他	87
計	261



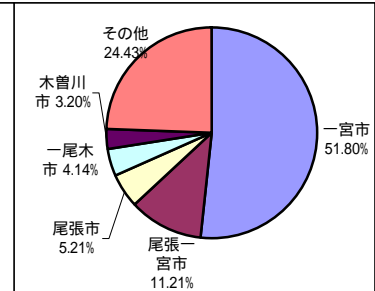
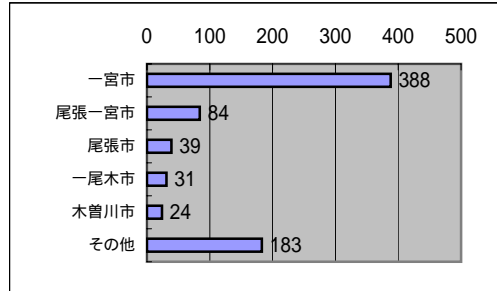
50歳代

新市名称	件数
一宮市	188
尾張一宮市	44
尾張市	34
一尾木市	25
木曽川市	12
その他	115
計	418



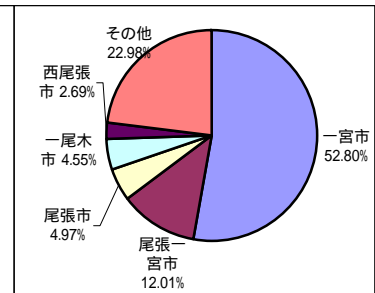
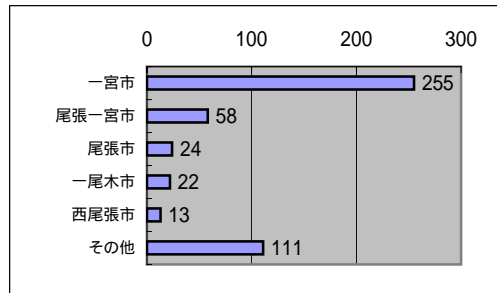
60歳代

新市名称	件数
一宮市	388
尾張一宮市	84
尾張市	39
一尾木市	31
木曽川市	24
その他	183
計	749



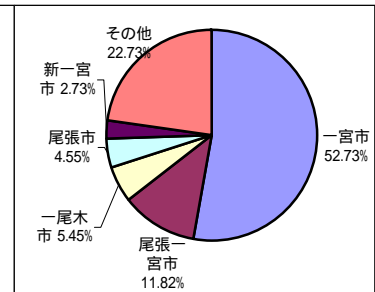
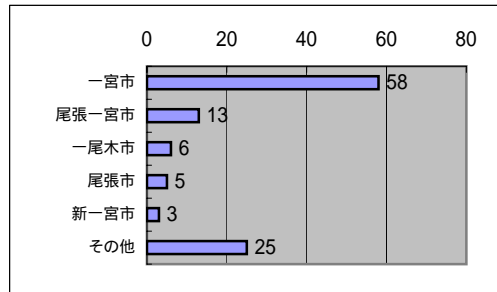
70歳代

新市名称	件数
一宮市	255
尾張一宮市	58
尾張市	24
一尾木市	22
西尾張市	13
その他	111
計	483



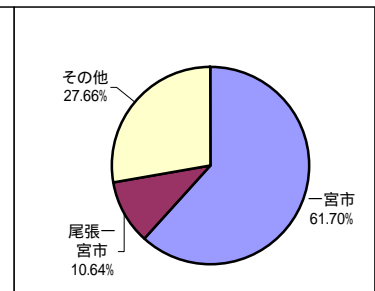
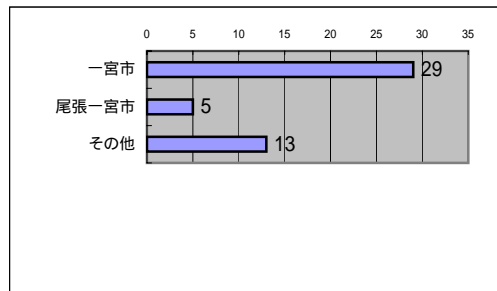
80歳以上

新市名称	件数
一宮市	58
尾張一宮市	13
一尾木市	6
尾張市	5
新一宮市	3
その他	25
計	110



不明

新市名称	件数
一宮市	29
尾張一宮市	5
その他	13
計	47



平成15年11月28日

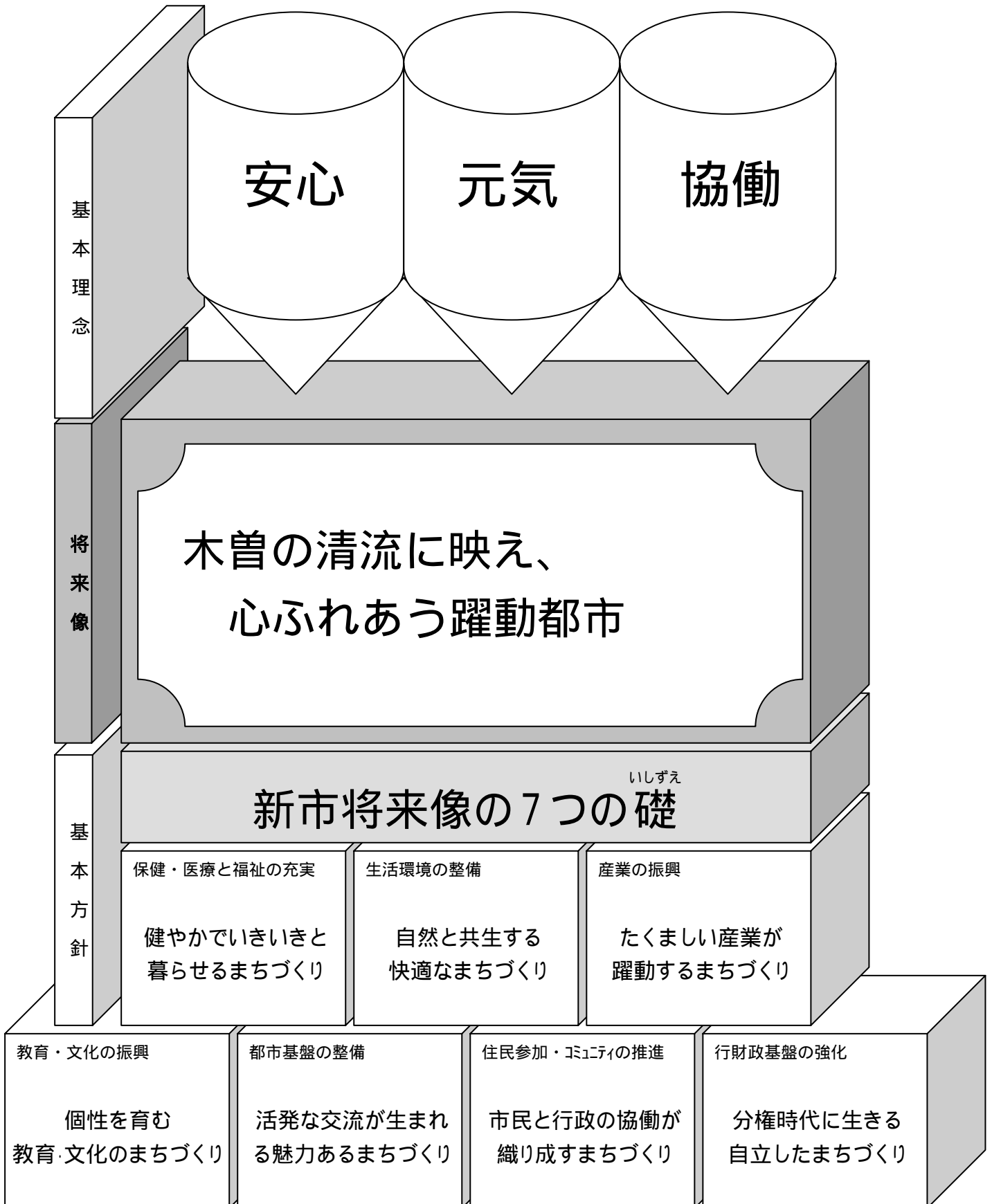
新市建設計画策定に向けて

一宮市・尾西市・木曾川町

一宮市・尾西市・木曾川町合併協議会

3 新市建設の基本方針

新市の将来像の体系図



(1) 基本理念

基本理念

安心

住民や地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、それに伴う行政サービスの高度化・多様化へのニーズも高まっています。

なかでも、少子・高齢化の進展、ライフスタイルの多様化に伴い、保健・医療・福祉をはじめとした各種行政サービスや生活環境の充実がより一層求められています。

さらに、モータリゼーションの進展に伴う交通災害や地震など大規模自然災害の危険性の高まりなど、様々な不安を払拭するため、ハード・ソフトにわたって、いわゆるセーフティネットを幅広くはりめぐらせる必要があります。

暮らし、産業活動など幅広い分野にわたり、安心して諸活動が展開できる地域づくりを目指します。

元気

長引く産業経済活動の低迷や、間近に迫った人口減少時代など、社会全般に閉塞感が広がる中、地域の活力を高めながら、長期にわたり地域間競争を生き抜くことのできる足腰の強い地域づくりが求められています。

とりわけ、繊維産業を中心とした産業構造の高度化や新産業の創出、雇用の確保など地域の産業経済活動全般に活力を取り戻すことはこの地域の喫緊の課題であり、新しいまちづくりを進める中で、重点的に取り組んでいく必要があります。

また、当地域は、古くから交通の要衝にあり、最近では、高速交通基盤の整備充実が図られるなど、広域交通条件が高まるとともに、域内では、一宮駅周辺を中心とした放射状の鉄道・道路網も充実するなど、交通結節性が極めて高く、この好条件を生かした活発な交流が展開される地域づくりが求められます。

住民、企業などこの地域に関わりを持つ全ての主体が元気に活動できるまちづくりを目指します。

協働

価値観の個性化・多様化とともに、あらゆる分野において、多様な地域づくりが求められています。

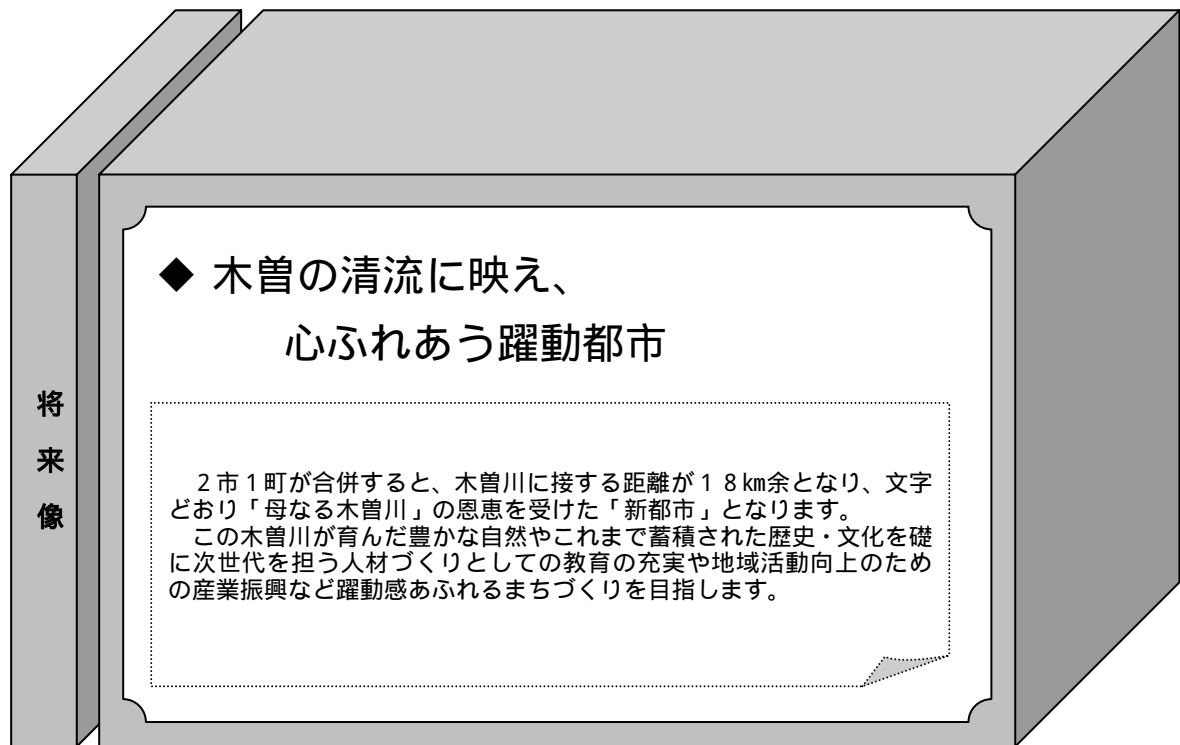
とりわけ、住民意識や社会貢献意欲の高まりを背景に、NPO、ボランティアなど住民が主体的に地域づくりに関わるケースや、生き生きとした活動を求め、積極的に地域社会に関わるケースなど、地域社会における住民、企業など市民の役割や責任がより一層大きなものになっています。

一方、行政においても、少子高齢化や環境意識の高まり、さらに地方分権のうねりなど、社会を取り巻く大きな変化に的確に対応できる地域づくりを進めるため、市民の多様な参加機会が確保された開かれた施策運営が求められています。

こうした状況を踏まえ、これからは、あらゆる地域づくりの分野にわたって、市民・行政が良好で緊密な連携のもと、互いに協力し合いながら様々な取組みを進めていくことが必要です。

市民と行政が協働による、きめ細やかなまちづくりを目指します。

(2) 新市の将来像

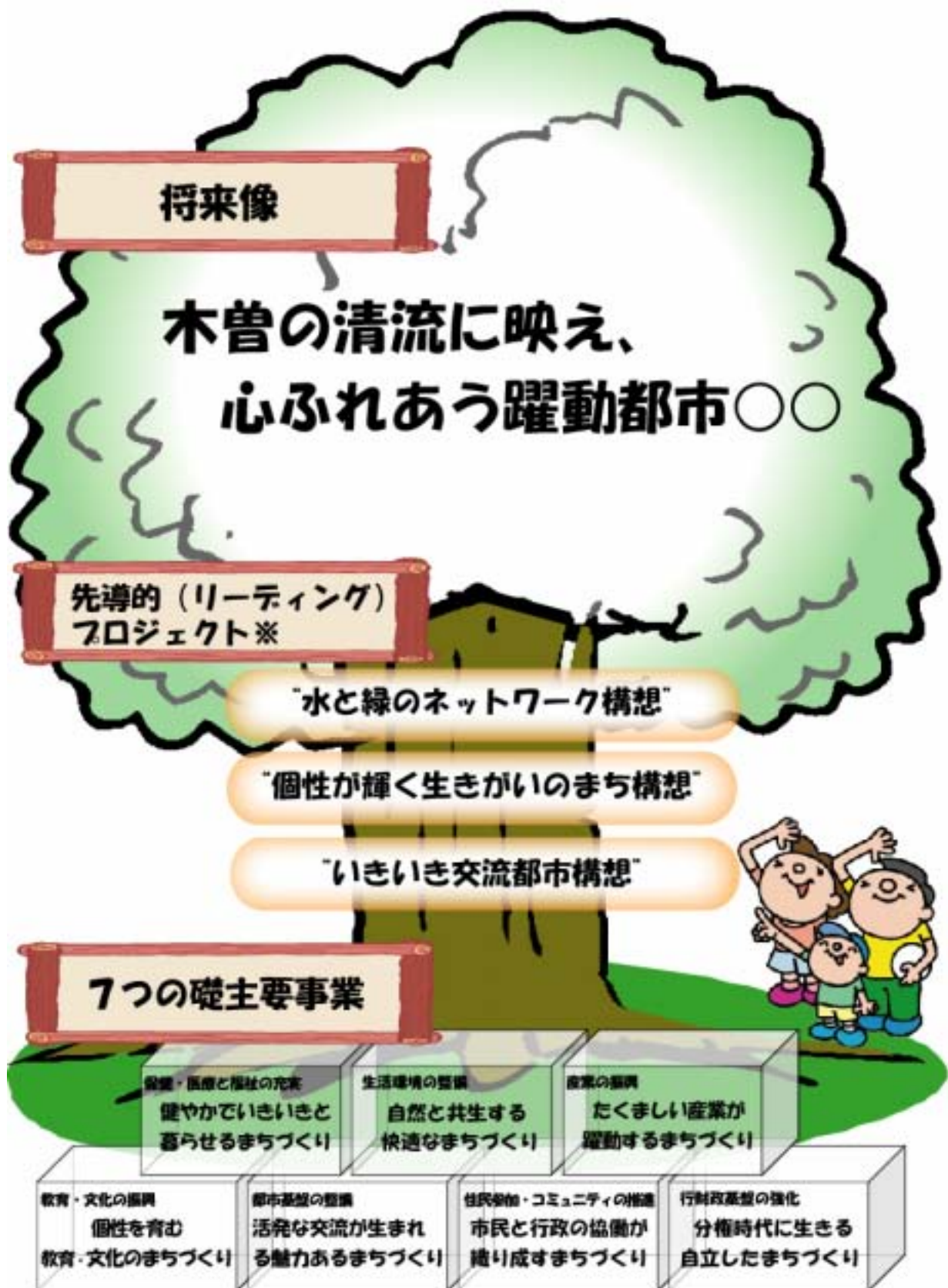


(3) 基本方針

<small>いしずえ</small> 新市将来像の7つの礎	
保健・医療と福祉の充実 健やかでいきいきと暮らせるまちづくり	少子高齢化がますます進行する中、人々が健康増進を図り、生涯を通じて、安心していきいきと暮らせるまちづくりを実現します。
生活環境の整備 自然と共生する快適なまちづくり	新市の北西を取り囲む木曽川がもたらす豊かな恵みを大切にしながら、快適で潤いに満ち安全なまちづくりを実現します。
産業の振興 たくましい産業が躍動するまちづくり	この地で蓄積された技術力等を最大限に活かしつつ、繊維産業をはじめとした既存産業の高度化を行うとともに、新規産業の創出やブランド力の強化を図り活気に満ちたまちづくりを実現します。
教育・文化の振興 個性を育む教育・文化のまちづくり	未来を担う個性ゆたかな子どもたちを育てることができるまちづくり、そして市民一人ひとりが自由に学び、楽しむことができる生涯学習・生涯スポーツなど自己実現の機会豊かなまちづくりを実現します。
都市基盤の整備 活発な交流が生まれる魅力あるまちづくり	広域交通の結節点というポテンシャルを活かしつつ、尾張地域の中核都市にふさわしい、広く人・モノ・情報が集まり、交流するまちづくりを実現します。
住民参加・コミュニティの推進 市民と行政の協働が織り成すまちづくり	市民と行政とのパートナーシップや、NPOなどの住民組織の活躍による市民参画など、市民と行政が共に力を合わせたまちづくりを実現します。
行財政基盤の強化 分権時代に生きる自立したまちづくり	合併を機に強力に行財政改革を推進しつつ、地方分権の時代に対応した行財政基盤の確保、足腰の強化を図り、健全で自立したまちづくりを実現します。

基本方針

4 新市の施策

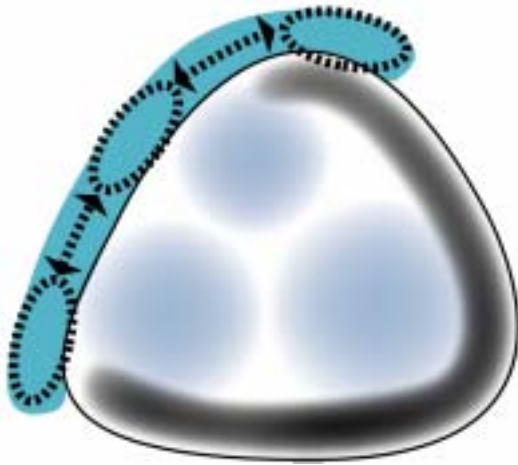


先導的（リーディング）プロジェクト：新市のまちづくりを先導する事業

先導的(リーディング)プロジェクト

先導的(リーディング)プロジェクト1

“水と緑のネットワーク構想”



木曽の清流に育まれた豊かな自然環境を最大限に生かし、どこに住んでいても、水環境や緑などの自然や自然を生かしたレクリエーション空間などが身近に感じられる、うるおいある環境整備や、環境にやさしい都市システムづくりに重点的に取り組みます。

木曽川河川敷公園整備（及び遊歩道整備の検討）
（尾西地区）

緑道整備

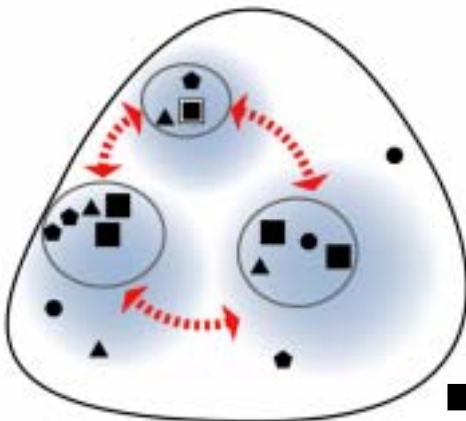
総合体育館建設（一宮地区）

余熱利用施設建設（一宮地区）

環境対策事業（下水道整備、廃棄物対策）

先導的(リーディング)プロジェクト2

“個性が輝く生きがいのまち構想”



個々人の価値観が多様化していく中で、地域の伝統や文化を活かしながら、様々な生きがい活動、自己実現活動が展開できる地域づくりに重点的に取り組みます。

福祉・医療施策の充実

文化会館建設（木曽川地区）

市民文化会館自主事業の充実

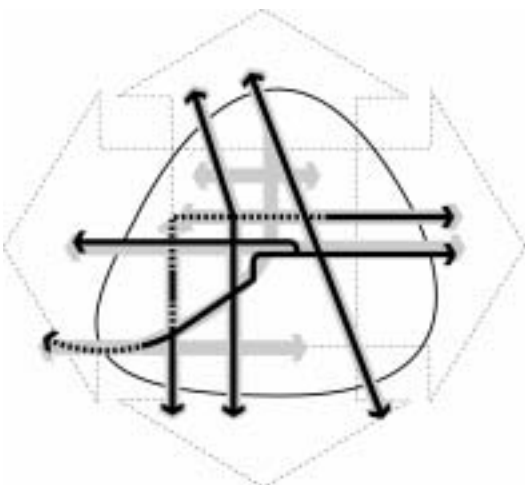
市民プール建設（木曽川地区）

地区公民館の充実

■ 市民会館等 ● 文化広場 ▲ 図書館 ▽ 博物館等

先導的(リーディング)プロジェクト3

“いきいき交流都市構想”



合併を機に、新市内の結びつきを一層強めるとともに、広域交通の利便性を活かし、広域的な拠点性を一層高め、地域内外の交流を一層促進するため、東西軸・南北軸の幹線道路網整備と広域拠点性の向上に重点的に取り組みます。

一宮駅周辺開発

（尾張一宮駅ビルのリニューアル検討含む）

インターチェンジ周辺開発

J R木曽川駅周辺整備

幹線道路網整備

（東西：新一宮尾西線、北尾張中央道

南北：西尾張中央道、北尾張中央道）

7つの礎 主要事業

(1) 保健・医療と福祉の充実

健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

少子高齢化がますます進行する中、人々が健康増進を図り、生涯を通じて、安心していきいきと暮らせるまちづくりを実現します。

施策の方向性

保健予防の充実	健康づくりの推進
医療体制の充実	地域福祉の向上
高齢者福祉の向上	障害者（児）福祉の向上
母（父）子福祉の向上	勤労者福祉の向上
児童の健全育成	

主要施策

市民病院整備事業
介護サービス充実事業
乳幼児医療給付事業
保健所運営事業
予防接種管理支援及び乳幼児健康管理システム事業
健康日本21地方計画策定事業
健康診査事業
生きがいと健康づくり推進事業
育児ボランティア育成事業

など

(2) 生活環境の整備

自然と共生する快適なまちづくり

新市の北西を取り囲む木曾川がもたらす豊かな恵みを大切にしながら、快適で潤いに満ち安全なまちづくりを実現します。

施策の方向性

消防・防災体制の充実	交通安全の確保
防犯体制の充実	住宅等の整備
公園緑地の整備	ごみ処理体制の充実
し尿処理体制の充実	上水道の整備
下水道の整備	

主要施策

木曾川河川敷公園整備事業（及び遊歩道整備の検討）（尾西地区）
緑道整備事業
公園緑地整備事業
最終処分場整備事業
粗大ゴミ処理施設建設事業
余熱利用施設建設（一宮地区）
斎場整備事業
防災関係機関連携（防災無線）強化事業
河川等水位監視システム整備事業
消防署改修（耐震）事業
市営住宅建設事業
など

(3) 産業の振興

たくましい産業が躍動するまちづくり

この地で蓄積された技術力等を最大限に活かしつつ、繊維産業をはじめとした既存産業の高度化を行うとともに、新規産業の創出やブランド力の強化を図り活力に満ちたまちづくりを実現します。

施策の方向性

工業の振興

商業の振興

農水産業の振興

観光・交流の振興

消費生活の向上

主要施策

工業基盤整備

企業の立地の促進に関する奨励事業

新規産業の創出

地場産業のブランド力強化

インターチェンジ周辺開発

ジャパン・テキスタイル・コンテストの開催

地場産業の高度化推進支援事業

地産地消の推進事業

環境循環型農業の普及

農業経営基盤の強化

商店街振興事業

一宮七夕まつり・尾西まつり・一豊まつりの開催

など

(4) 教育・文化の振興

個性を育む教育・文化のまちづくり

未来を担う個性ゆたかな子どもたちを育てることができるまちづくり、そして市民一人ひとりが自由に学び、楽しむことができる生涯学習・生涯スポーツなど自己実現の機会豊かなまちづくりを実現します。

施策の方向性

学校教育の充実
地域文化の振興

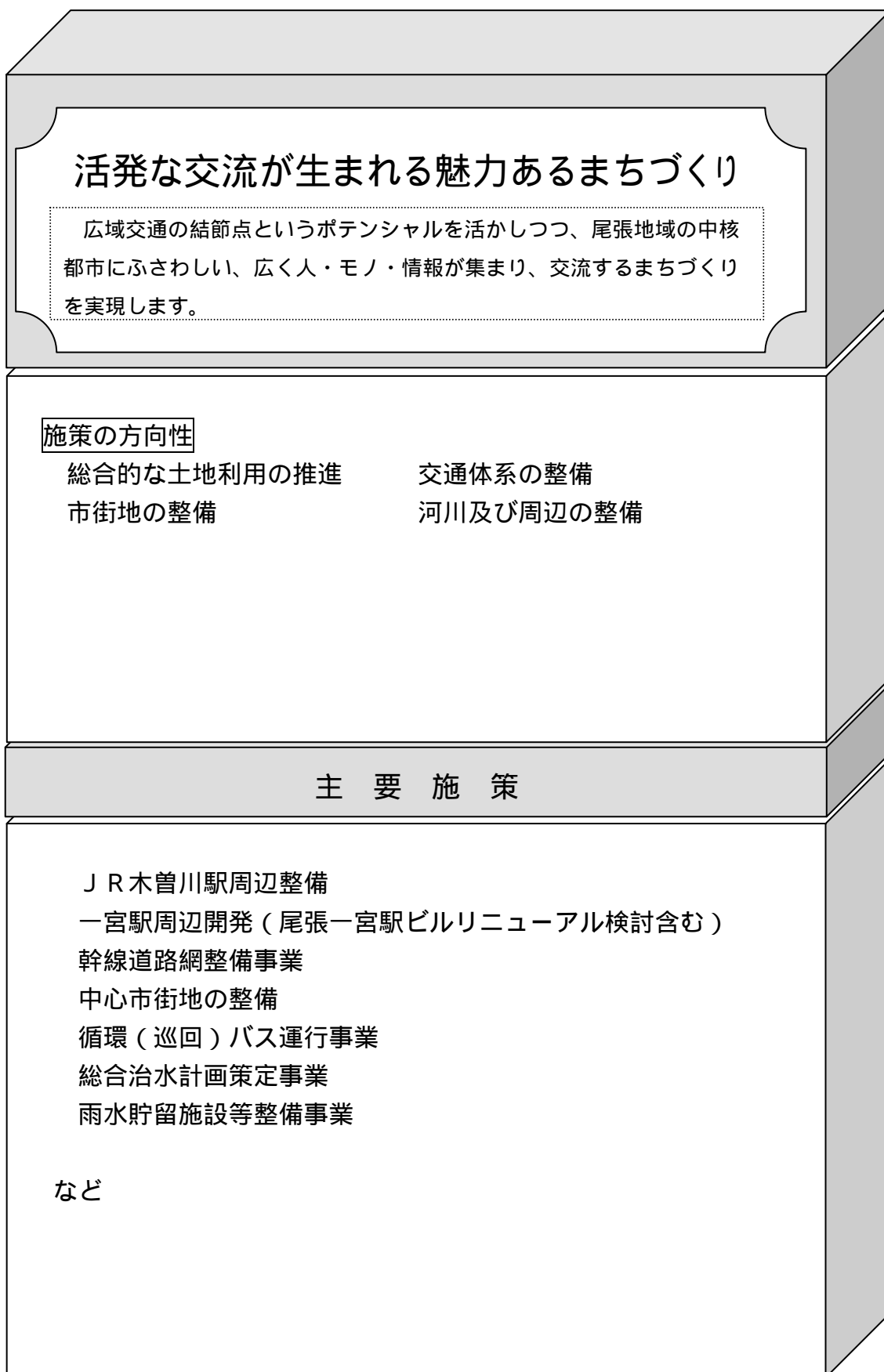
生涯学習の推進
スポーツ活動の振興

主要施策

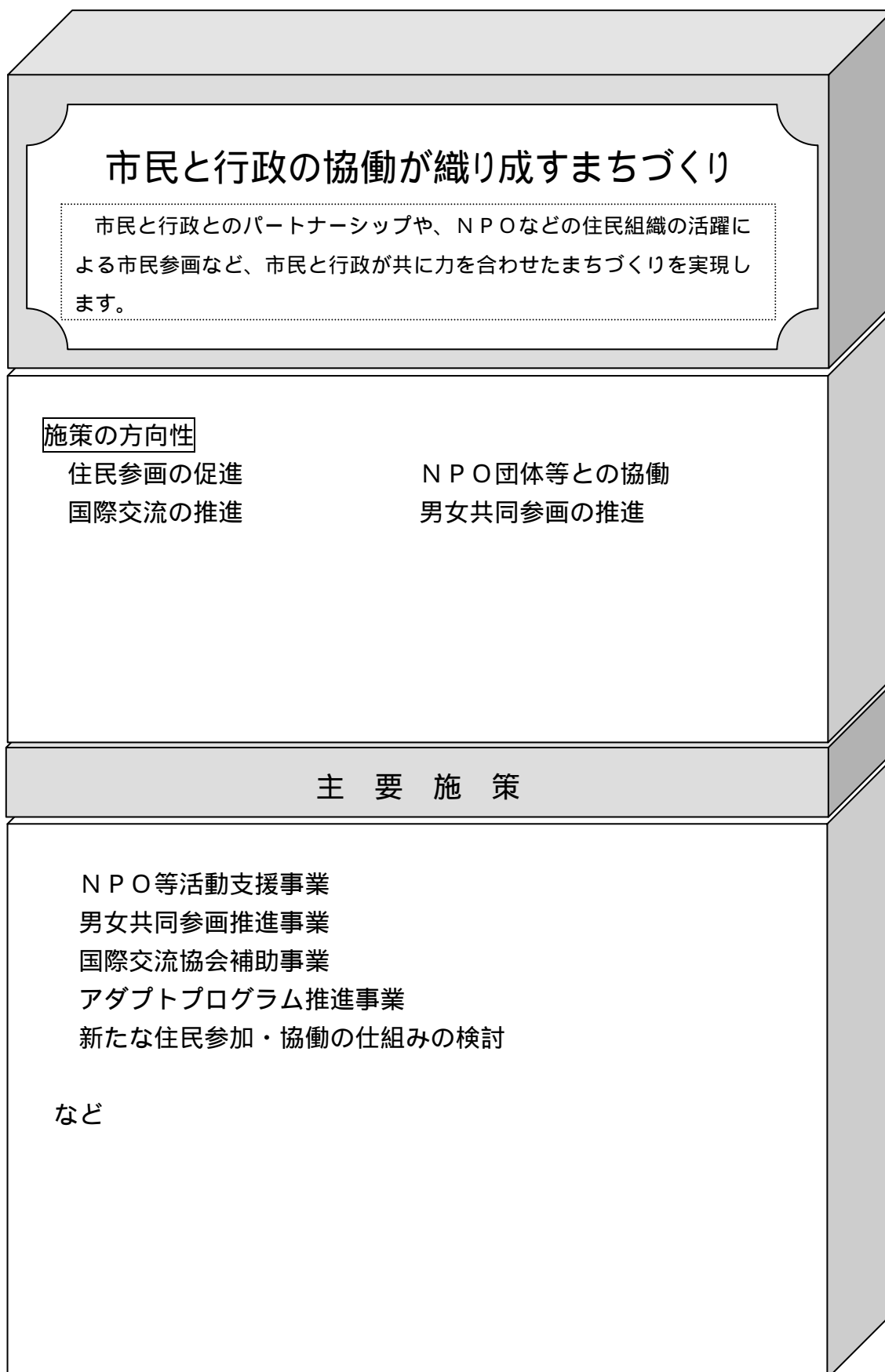
少人数学級・少人数指導の推進
文化会館建設事業（木曽川地区）
総合体育館建設事業（一宮地区）
学校施設改修（耐震）・整備
地区公民館施設整備
学校週5日制学校外活動推進事業
市民プール建設事業（木曽川地区）
市民文化会館自主事業の充実

など

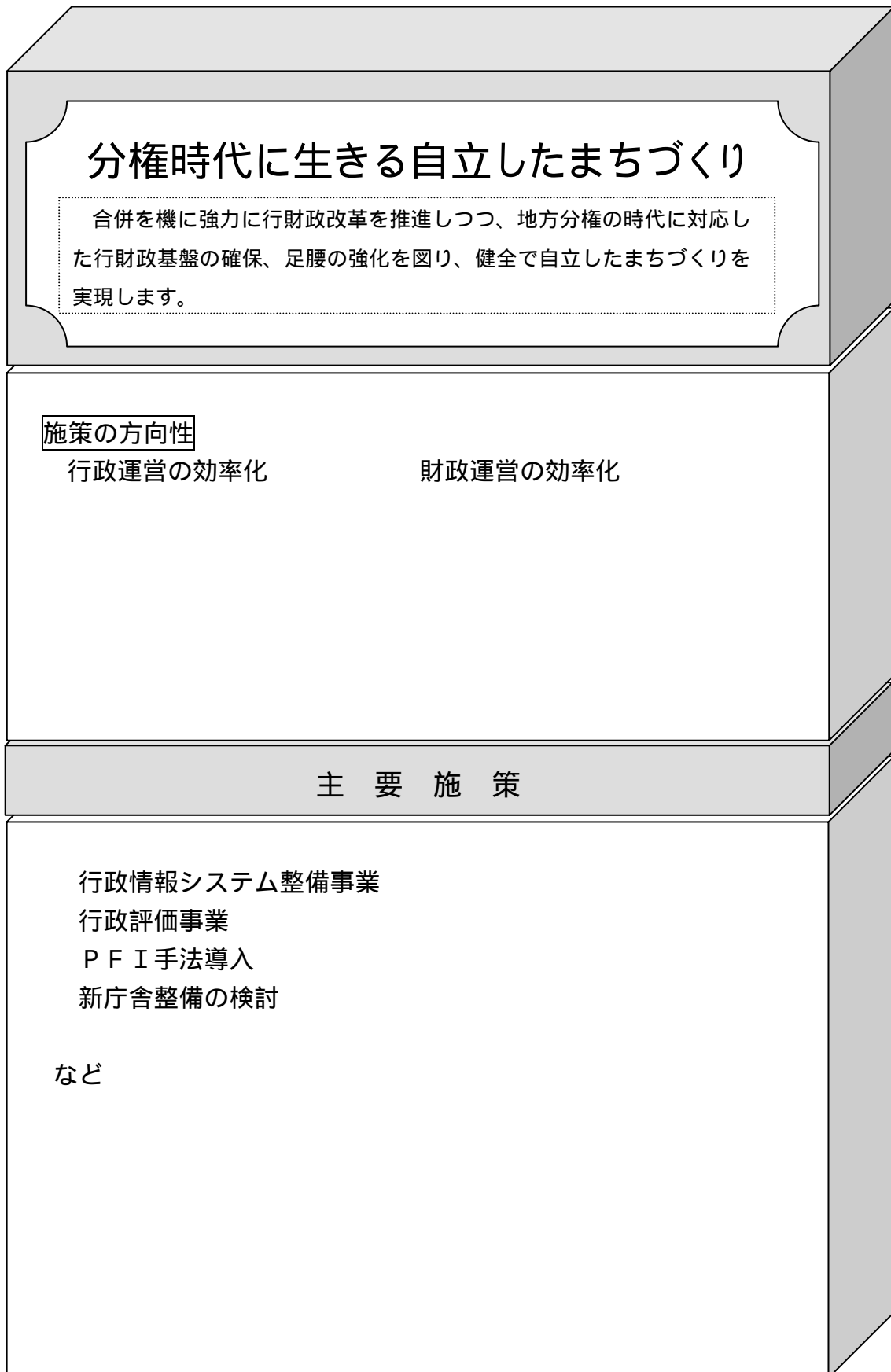
(5) 都市基盤の整備



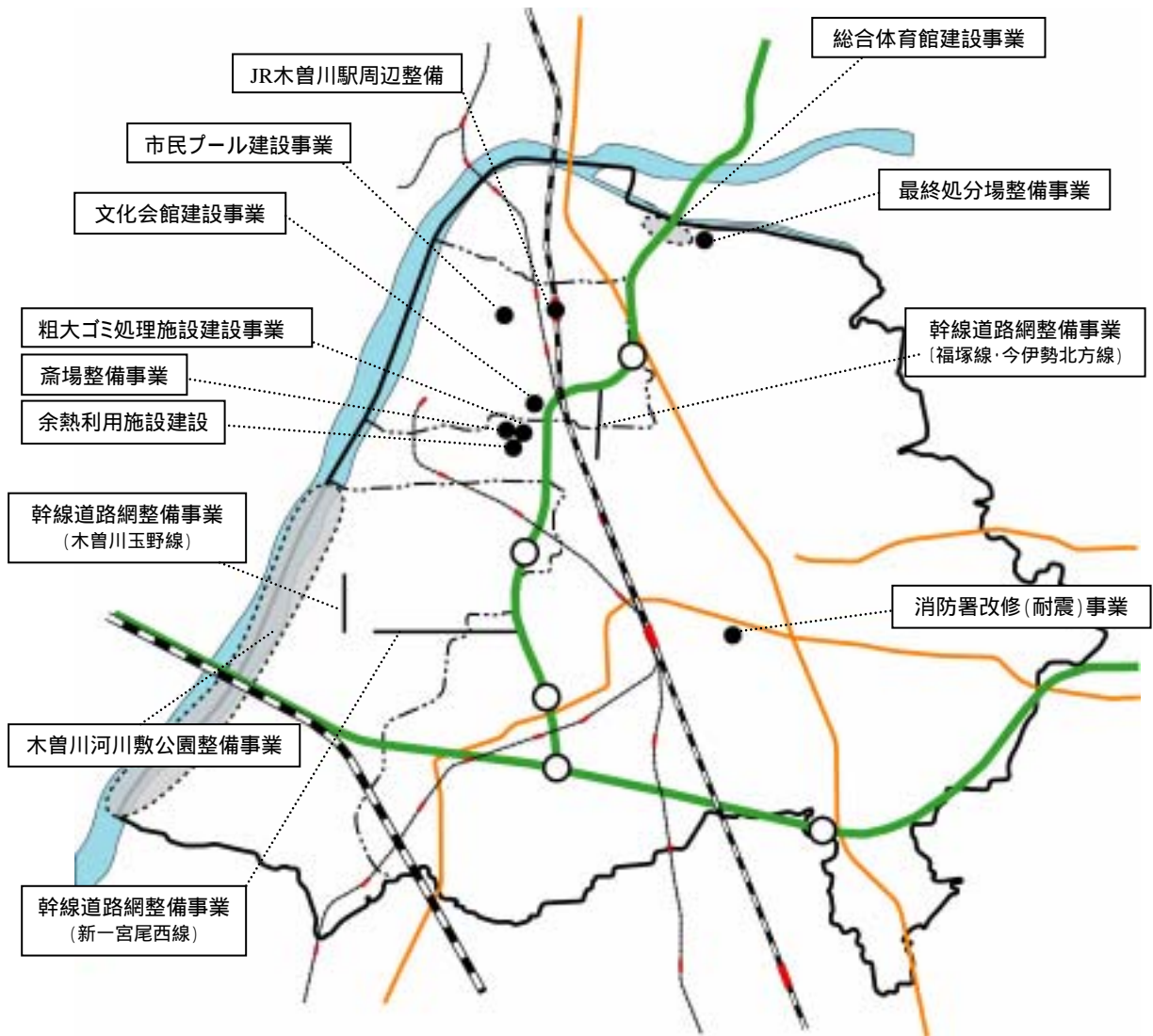
(6) 住民参加・コミュニティの推進



(7) 行財政基盤の強化



主要事業位置図



その他事業
防災関係機関連携(防災無線)強化事業
河川等水位監視システム整備事業
学校施設改修(耐震)・整備
市営住宅建設事業
合併市町村振興基金

「新市建設計画策定に向けて」

協議附属資料

< 財 政 計 画 >

検討資料

この資料は、現段階での協議結果及び事務局案に基づき
推計しております。

建設計画事業、事務事業の調整結果など合併協定項目の
協議結果によって変動します。

推計基準

歳入

地方税	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績、人口推計等を勘案し算定しています。(合併効果) 不均一課税特例及び尾西市の法人市民税超過課税分については調整方針案に基づき増減額を見込んでいます。 また、事業所税については、事業所税の課税団体の指定の延期の特例(5年間の課税免除期間)を活用し、平成22年度から見込んでいます。
地方譲与税 利子割交付金 地方消費税交付金 自動車取得税交付金 地方特例交付金	過去の実績等により見込んでいます。
地方交付税	<ul style="list-style-type: none"> 普通交付税については、15年度制度に基づいた算定を基本に、過去の実績等により見込んでいます。(合併効果) 普通交付税の算定の特例(合併算定替)により算定し、合併特例債交付税措置を併せて見込んでいます。 特別交付税については、合併措置分を見込んでいます。 平成21年度に中核市に移行すると仮定し同年度から普通交付税需要額の増額を見込んでいます。
交通安全特別交付金	過去の実績等により見込んでいます。
分担金及び負担金 使用料 手数料	過去の実績等により見込んでいます。
国庫支出金 県支出金	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績及び人口推計等による影響を勘案し見込んでいます。(合併効果) 事務事業の調整等及び建設計画主要事業に係る財源の増減及び合併に係る財政支援(合併市町村補助金・県合併特例交付金)を見込んでいます。
財産収入 寄付金 繰入金 繰越金 諸収入	過去の実績等により見込んでいます。
市債	<ul style="list-style-type: none"> 各市町の通常実施事業に見合った記載額を見込んでいます。 現行制度に基づく減税補てん債及び臨時財政対策債借入額を見込んでいます。(合併効果) 建設計画主要事業の財源として合併特例債及び通常債を見込んでいます。 なお、地方債の借入れについては後年度の償還負担を勘案し、必要最小限の借入にとどめています。

歳出

人件費	<ul style="list-style-type: none"> 現在の各市町の定員管理計画等による定数に基づき、各市町の給与、報酬を基本に見込んでいます。(合併効果) 類似団体等を参考に退職者の補充を抑制することにより、一般職職員の削減を見込んでいます。 特別職、議会議員の減員を見込んでいます。
物件費・維持補修費	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績等により見込んでいます。(合併効果) 建設計画事業に伴う経費、合併直後の臨時的経費及び事務事業の調整方針案に基づき見込むとともに、合併による事務経費の削減効果を見込んでいます。
扶助費	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績、人口推計等を勘案し見込んでいます。(合併効果) 事務事業の調整方針案に伴う増減分を見込んでいます。
補助費等	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績等により見込んでいます。(合併効果) 事務事業の調整方針案に基づき見込むとともに、尾西、木曽川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う下水道事業補助金の増額を見込んでいます。
普通建設事業費	<ul style="list-style-type: none"> 各市町の既存の計画に基づく事業量を見込んでいます。(合併効果) 建設計画の主要事業に係る経費を見込んでいます。
公債費	<ul style="list-style-type: none"> 2市1町の既借入債の元利償還金を見込んでいます。(合併効果) 建設計画主要事業に係る合併特例債や新規発行の通常債の元利償還金を見込んでいます。
積立金	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績等により財政調整基金等への積立を見込んでいます。(合併効果) 合併市町村の地域振興を目的とする「合併市町村振興基金」の積立を見込んでいます。
投資及び出資金	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績等により見込んでいます。(合併効果) 尾西、木曽川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う下水道事業出資金の増額を見込んでいます。
貸付金	過去の実績等により見込んでいます。
繰出金	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績等により見込んでいます。(合併効果) 事務事業の調整方針案に基づき見込むとともに、尾西、木曽川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う下水道事業繰出金の減額を見込んでいます。

合併した場合の10年間の効果・影響について

歳入		単位:百万円
地方税(事業所税等)		7,540
平成22年度から事業所税を課税することによる歳入増等		
地方交付税		
普通交付税 (合併直後の臨時的経費に対する財政措置(合併補正))	(合併後5年間)	2,390
合併後における行政の一体化(基本構想等の策定・改定、ネットワークの整備等)に要する経費等に対する措置		
特別交付税 (合併市町村に対する財政措置)	(合併後3年間)	945
合併を機に行われる新しいまちづくり、合併関係市町村間の公共料金格差調整、公債費負担格差の是正や土地開発公社の経営健全化等についての需要に的確に対応するために包括的に措置。		
市町村合併補助金(国)	(合併後3年間)	660
市町村建設計画に基づく事業に対し、合併関係市町村の人口に応じ、1関係市町村あたり3カ年で6千万円～3億円の合算額を補助。		
合併特例交付金(県)	(合併後3年以内に事業着手 事業着手後5年間)	600
合併市町村の一体的なまちづくりのための事業等に対して財政的支援を行うことにより、合併市町村の一体的な発展と市町村合併の推進を図るための交付金。		
歳入計		12,135

歳出	
人件費	11,463
特別職、議会議員等の減員と、類似団体を参考に10年間で一般職職員の退職者を70～10%不補充とすることによる一般職職員の削減(333人)による効果 (別途中核市移行にともない平成21年度から保健所職員など70人増員)	
物件費	1,795
合併にともなう合理化による節減効果	
歳出計	13,258

その他	
普通交付税額の算定の特例(合併算定替)	(合併後15年間) 7,927
合併後10カ年度は、合併がなかったものと仮定して毎年算定した普通交付税の額を保障。さらに5カ年度は激変緩和措置。	
中核市移行にともなう普通交付税需要額	13,776
中核市として事務権限が拡大するとともに、都市機能に見合うよう交付税需要額が増額される。なお、増額にともない補助金等の削減及び歳出(人件費、事業費等)が増額する。	
合併関連事業	25,309
合併特例債の発行等を活用し、新しいまちづくりのための合併関連事業を展開することができます。	
合併市町村振興基金	4,000
合併後の市町村の振興のための基金造成に対する財政措置	

平成21年度に中核市に移行すると仮定しています。

用語解説

歳入	
地方税	市(町)が独自で課税、徴収することができる税金です。 市民税、固定資産税、都市計画税などがあります。
地方交付税	(普通交付税) 市(町)が標準的な水準の行政事務を行うために必要な経費(基準財政需要額)のうち、地方税等の収入見込額(基準財政収入額)で賄えない財源不足額を、国税の一定割合の額で公平に補てんされるものです。 (特別交付税) 普通交付税の算定に反映することのできなかった具体的な事情を考慮して交付されるものです。
国・県支出金	市(町)が行う行政サービスに必要なお金の一部あるいは全部について、国や県から市(町)に交付されるものです。
市(町)債	市(町)の長期にわたる借入金のことです。学校などの長期にわたって利用される施設の建設に必要な資金について、世代間の公平を図る観点から、地方債という形で調達しています。

歳出	
人件費	市長、議員等の特別職の報酬、一般職員の給料などの経費です。
物件費	臨時職員の賃金、市役所(町役場)・学校等の消耗品や光熱水費、備品購入費などに使われる経費です。
扶助費	社会保障制度の一環として、児童、老人、生活困窮者等を援助するための経費です。
普通建設事業費	道路や学校の建設など、将来、市(町)の財産となるものに支出される経費です。
公債費	市(町)の長期にわたる借入金(地方債)の元金の返済、利子の支払いに要する経費です。

その他	
合併特例債	合併後10カ年度、新市建設計画に基づく特に必要な事業の経費に充てることができる地方債です。(起債対象事業経費の概ね95%が該当、元利償還金の70%を普通交付税措置されます。)
合併市町村振興基金	旧市町村単位の地域振興、住民の一体感醸成のための基金です。 (合併特例債の対象となります。)

平成 15 年 11 月 28 日

< 地域審議会の取扱いについて >
検討資料

第 27 次地方制度調査会
「今後の地方自治制度のあり方に関する答申」について（抜粋）

一宮市・尾西市・木曽川町合併協議会
新市建設計画作成等小委員会

第 2 7 次地方制度調査会

「今後の地方自治制度のあり方に関する答申」について

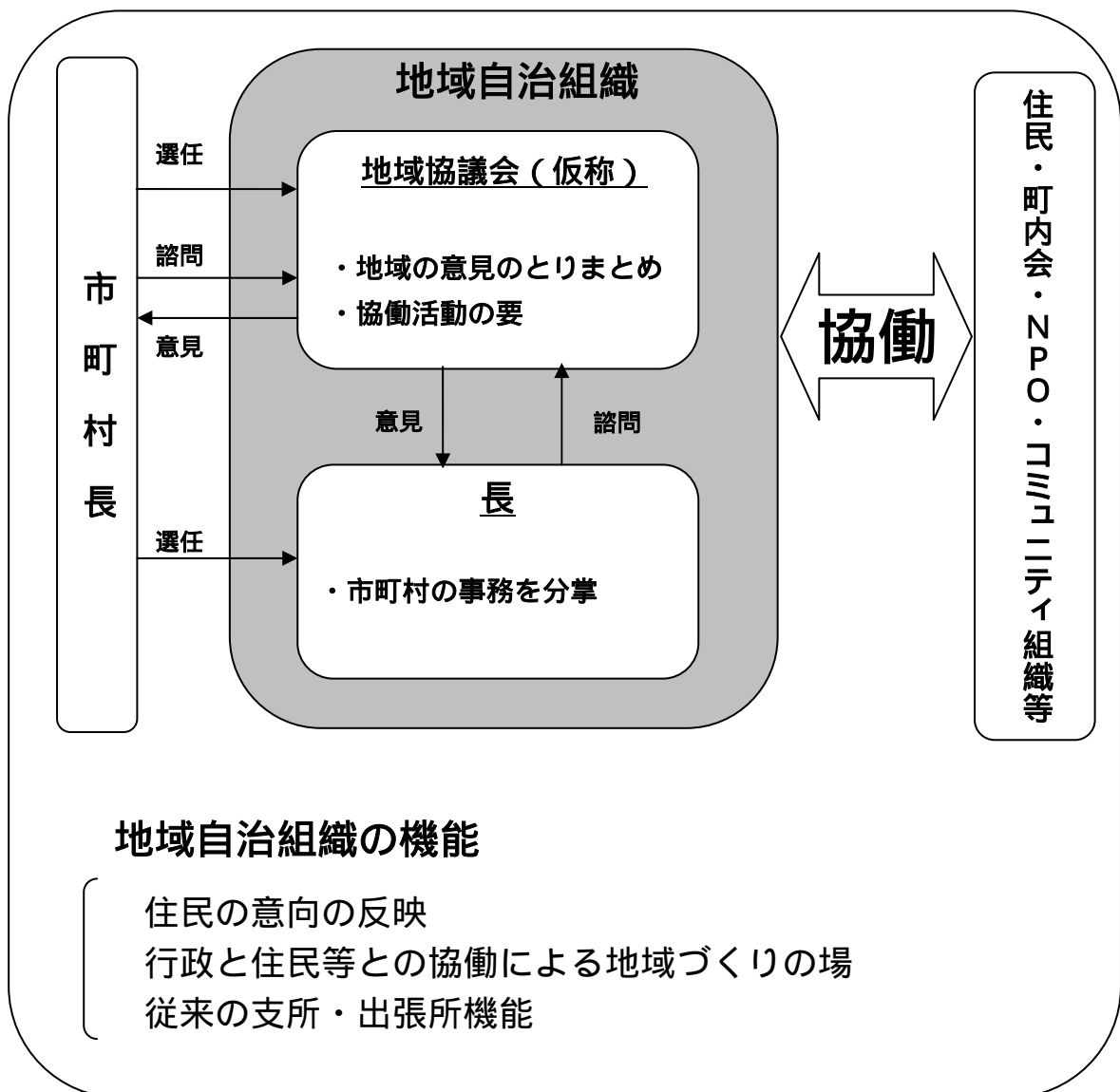
平成 1 5 年 1 1 月

地域自治組織について

1. 基本的考え方

市町村内の一定の区域を単位とし、住民自治の強化や行政と住民との協働の推進などを目的とする組織として、地域自治組織を市町村の判断によって設置できることとすべき。

地域自治組織のイメージ



2 . 制度のポイント

必要と考える市町村が任意に設置できる制度（一般制度）として導入。合併市町村に限り、法人格を有するタイプ（特別地方公共団体）を、旧市町村単位に、合併後の一定期間、設けることができる制度とする。

区域、名称、分掌事務の範囲などは、自主性を尊重。

公選法による選挙は、導入しない。

- ・ 長は、市町村長が選任。
- ・ 地域協議会（仮称）の構成員

一般制度

市町村長が自治会、町内会、PTA、各種団体等地域の多様な団体からの推薦や公募に基づき選任。

法人格を有するタイプ

合併協議で選出方法を定める（公選法によらない選挙、公募等を想定）。

地域協議会の構成員は、原則として無報酬。

今後の地方自治制度のあり方に関する答申(抜粋)

第1 基礎自治体のあり方

3 合併特例法期限到来後における分権の担い手としての基礎自治体

(2) 市町村合併に関連する多様な方策

合併後の基礎自治体における地域自治組織制度の活用

合併後、総じて規模が大きくなる基礎自治体内において住民自治を強化する観点や、住民に身近なところで住民に身近な事務を住民の意向を踏まえつつ効果的に処理するという観点から、基礎自治体の事務のうち地域共同的な事務等を処理するため、下記4(1)の地域自治組織(仮称。以下同じ。)の制度を活用することが考えられる。

なお、合併に際して地域自治組織を活用するときは、合併後の一定期間、下記4(2)の法人格を有する地域自治組織を旧市町村単位の設置することができる等の特例を設けることが適当である。

この制度を活用することにより、合併後の基礎自治体は、合併前の旧市町村のまとまりも活かした包括的な基礎自治体ともいえるべき形態をとることが可能となる。併せて、地域自治組織に旧市町村の名称を冠することによって、合併前の名称を残すことも可能となる。

4 基礎自治体における住民自治充実や行政と住民との協働推進のための新しい仕組み

(1) 地域自治組織の制度化

基礎自治体には、その事務を適切かつ効率的に処理するとともに、住民に身近なところで住民に身近な事務を住民の意向を踏まえつつ効果的に処理するという観点が重要である。

また、本格的な少子高齢社会が到来しつつある今日、安全で住みやすい快適な地域づくりに資する地域のセーフティネットの構築が喫緊の課題となっている。このため、行政と住民が相互に連携し、ともに担い手となって地域の潜在力を十分に発揮する仕組みをつくっていくことも、これからの基礎自治体に求められる重要な機能のひとつである。

こうしたことから、基礎自治体内の一定の区域を単位とし、住民自治の強化や行政と住民との協働の推進などを目的とする組織として、地域自治組織を基礎自治体の判断によって設置できるとすべきである。

地域自治組織のタイプとしては、当調査会の「今後の地方自治制度のあり方についての中間報告」(平成15年4月30日)で示したように、a)行政区的なタイプ(法人格を有しない。)とb)特別地方公共団体とするタイプ(法人格を有する。)が考えられるが、一般制度としては、基礎自治体としての一体性を損なうことのないようにするという点にも配慮してa)行政区的なタイプを導入すべきである。ただし、市町村合併に際しては、合併前の旧市町村が果たしてきた役割を踏まえ、合併後の一定期間、従前のまともりにも特に配慮すべき事情がある場合には、合併前の旧市町村単位にb)特別地方公共団体とするタイプを設置できるとすることが適当である。

なお、地域の状況がさまざまであることから、法律で定める事項は最小限にとどめ、地域の自主性を尊重し、地域において活用しやすいものとなるような制度とする必要がある。

(2) 地域自治組織の仕組み

地域自治組織は、区域内に住所を有する者が当然にその構成員となるものとし、具体的な仕組みは以下のとおりとすることが考えられる。

一般制度としての地域自治組織の仕組み

ア 基本的な機能と組織

一般制度としての地域自治組織は、住民に身近なところで住民に身近な基礎自治体の事務を処理する機能と住民の意向を反映させる機能、さらに行政と住民や地域の諸団体等が協働して担う地域づくりの場としての機能を有するものとし、基礎自治体の一部として事務を分掌するものとする。

地域自治組織の機関として、地域協議会（仮称。以下同じ。）及び地域自治組織の長を置くこととする。また、地域自治組織には事務所を置き、支所、出張所的な機能と地域協議会の庶務を処理する機能を担わせることとする。

なお、区域をはじめ各地域自治組織の基本的な事項は、基礎自治体の条例で定めることとするが、市町村合併に際して地域自治組織を設置する場合は、条例に代えて、あらかじめ合併協議によって定めることができることとする。

イ 地域協議会

(ア) 役割

地域協議会は、住民に基盤を置く機関として、住民及び地域に根ざした諸団体等の主体的な参加を求めつつ、多様な意見の調整を行い、協働の活動の要となる。また、地域協議会は、地域自治組織の区域に係る基礎自治体の事務に関し、基礎自治体の長その他の機関及び地域自治組織の長の諮問に応

じて審議し、又は必要と認める事項につき、それらの機関に建議することができることとする。

なお、基礎自治体の判断により、地域自治組織の区域に係る基礎自治体の予算、基本構想、重要な施設の設置及び廃止等一定の事項については、基礎自治体の長に必ず地域協議会の意見を聴くよう求めることが考えられる。

(イ) 構成員の選任等

地域協議会の構成員は、基礎自治体の長が選任する。

(ア)で述べた地域協議会の役割から、構成員の選任に当たっては、自治会、町内会、PTA、各種団体等地域を基盤とする多様な団体から推薦を受けた者や公募による住民の中から選ぶこととするなど、地域の意見が適切に反映される構成となるよう配慮する必要がある。

なお、地域協議会は、住民の主体的な参加を期待するものであることから、その構成員は、原則として無報酬とする。

ウ 地域自治組織の長

(ア) 役割

地域自治組織の長は、地域自治組織を代表し、地域協議会との緊密な連携の下、地域協議会によりとりまとめられた地域の意見を踏まえ、地域の実情に応じたきめ細かな事業・施策を実施する役割を担うものとする。

(イ) 選任

地域自治組織の長は、基礎自治体の長が選任する。

エ 財源

地域自治組織が、地域協議会の意見を尊重しつつ必要な事業

が実施できるよう、必要な予算を確保するなど、基礎自治体において地域自治組織の財源について所要の措置を講じることが期待される。

合併に際して設置される地域自治組織（法人格を有する。）の仕組み

市町村合併に際しても、の一般制度としての地域自治組織を設置することはできるが、合併後の一定期間、合併前の旧市町村のまとまりにも特に配慮すべき事情がある場合は、特別地方公共団体である地域自治組織（法人格を有する。）を設置できることとすることが適当である。

このタイプの地域自治組織についても、の地域自治組織と同様の役割が期待されるところであり、その組織についても、と同様、地域協議会と地域自治組織の長を置くほか、事務所を置くこととする。

との相違点を中心とした制度の仕組みは以下のとおりである。

ア 設置

合併協議により規約を定め、合併後の一定期間、合併前の旧市町村単位に設けることができることとする。

なお、法人格を有することから、設置に当たって都道府県知事が認可等所要の関与を行う必要がある。

イ 事務の考え方

地域自治組織は、法令により処理が義務づけられていない基礎自治体の事務のうち、その地域自治組織の区域に係る地域共同的事務であって規約で定めるものを自らの事務として処理する。

また、地域自治組織の機関が基礎自治体の補助機関の地位を兼ねることなどにより、法令により基礎自治体が処理することが義務づけられている事務を地域自治組織において処理することもできるものとする。

ウ 組織等

地域協議会は、地域自治組織の予算等を決定するほか、必要と認める事項につき基礎自治体の長その他の機関に建議することができることとする。

地域協議会の構成員の選出方法は、地域の自主性を尊重する観点から、規約で定めることとする。なお、構成員は、と同様、原則として無報酬とする。

地域自治組織の長は、基礎自治体の長が選任するものとする。

地域自治組織の事務局の職員は、基礎自治体からの派遣又は兼務を原則とし、必要な場合には、臨時の職員を採用できることとする。

エ 財源

基礎自治体の事務の一部を処理するための財源は、基礎自治体からの移転財源によることとし、基礎自治体は地域自治組織の円滑な事務運営のための財源を確保するよう配慮するものとする。

課税権と地方債の発行権限は有しないこととし、地方交付税の交付対象団体ともしないこととする。

なお、地域自治組織が上記の移転財源による財源見合いの事務以外の事務を実施することを認める場合には、何らかの住民の負担によることができることとすることを検討する必要がある。

指定都市への適用について

指定都市については、行政区その他の一定の区域（出張所単位等）をもって地域自治組織を設置することができることとする。